

活動プログラム

少年自然の家職員が、指導対応できるプログラム（※：指導料有料）

1. オリエンテーリングのやり方説明 (1)
2. 室内リレーオリエンテーリングのやり方説明 (9)
3. 野外炊事（火の起こし方） (11)
4. クラフト（竹細工） (19)
5. クラフト（紙バンド） (22)
6. ※ 丸火の森のノルディックウォーキング (23)
7. ※ ナイトウォーク (24)
8. ※ 星座観察 (25)
9. ※ 富士山ジオトーク (26)

少年自然の家で準備物の貸し出し可能なプログラム（紹介含む）

10. 丸火で洞窟探検（丸火の溶岩洞穴や溶岩樹型を知ろう） (27)
11. 溶岩流を追い求めて（富士山を知ろう） (30)
12. 越前岳登山 (31)
13. キャンプファイヤー (33)
14. キャンドルサービス (34)
15. ナイトハイク (35)
16. 自然あそび1（丸火でビンゴ） (37)
17. 自然あそび2（サウンドマップ） (39)
18. クラフト（自然物工作） (40)
19. 自然観察ハイキング (41)
20. 植物観察ハイキング (42)
21. ウォークラリー（フォトラリー） (43)
22. アドベンチャーラリー (44)
23. バードウォッチング (48)
24. 体育館でレクリエーション (49)
25. 防災ウォークラリー (50)

他施設を利用するプログラム（紹介）

26. クロスカントリーコース（こどもの国） (52)

富士市立少年自然の家

〒 417-0801 富士市大淵10847-1 TEL(0545)35-1697 FAX (0545)36-2799

<https://fuji-marubi.jp>

1. オリエンテーリング (OL)

ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 丸火の自然に親しみながら、冒険心、決断力、チームワークを学ぶ。 2. 地図の読み方、コンパスの使い方を学ぶ。 3. 身体を鍛え、体力の向上を図る。
対象年齢と人数	小学校高学年から成人まで 少人数のグループ
時 間	2～5時間 (コース設定による)
方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポイントOL (決められた順番にコントロールを周る) 2. スコアOL (時間内によりたくさんの得点を集める) 3. リレーOL (リレー形式でコントロールを周る) 4. ナイトOL (主として夜に行うポイントOL)
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	コントロール (固定、移動)、マスターマップ (設置ポイントを明記してある地図)、コンパス、地図、ゼッケン、筆記用具、昼食、水筒 (弁当・水筒は活動時間帯による) ※移動コントロール・コンパス・ゼッケンは、少年自然の家で貸し出しできます。地図は、有料【一般：1枚300円、富士市立小中学校：(2枚セット)200円】です。
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. マスターマップの作成をする。(指導者が事前の準備) 2. 移動コントロールの設置 (指導者が事前の準備、固定は不要) 3. コース内の危険箇所へ指導者を配置する 4. 地図の読み方、コンパスの使い方、歩測 (距離) の仕方等を指導する (終了予定時刻を事前に伝えておく) 5. ポイントOLの場合はグループごとに地図とコンパスを持って、間隔をあけてスタートする。(グループリーダーがゼッケン着用、チェックカードにスタート時刻の記入) 6. ゴールしたら、時刻とコントロール記号の確認をして、集計・採点する
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンパスの使い方、地図の読み方、歩測の仕方等をしっかり覚えさせる 2. 終了予定時刻を設定し、事前説明の時に全員に伝えておく 3. コンパスをなくしたり、破損したりしないよう注意する 4. 参加者の年齢・能力に応じて、コース設定をする

※モデルコースのマスターマップが少年自然の家に用意してありますので、事前打合せの時などにご相談ください。富士市立の小中学校は教育委員会に著作権のある貸し出し可能な地図を利用できます。
 ※OLの説明が必要な場合は、所員に声をかけていただければ、お手伝いします。

オリエンテーリングを楽しもう

地図読み&コンパスの使い方 入門編

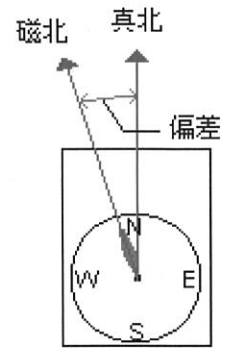
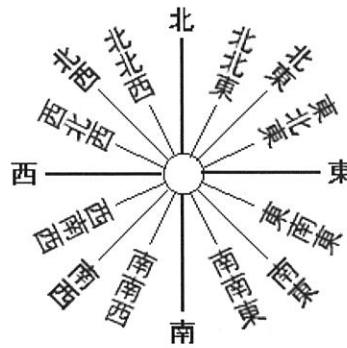
■使用する地図について

□静岡県オリエンテーリング協会作成 10,000分の1地形図 または 7,500分の1地形図

- 地図上の1 cm →実際の10,000 cm (100m)
- 地図上の10 cm →実際の1km (1,000m)

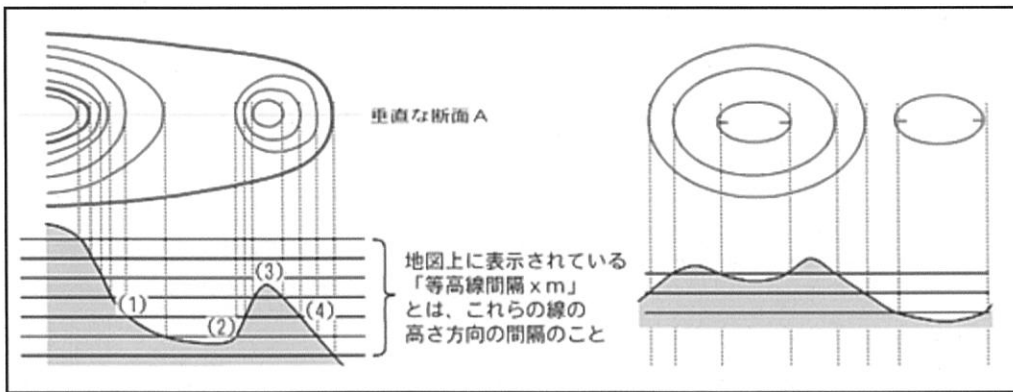
□北はどっち？

- 地図の上が北
- ただし、次のことに注意！
「富士ではコンパス（方位磁針）が指す北は、真北から西に6度程度ずれています。」
⇒コンパスが指す北のことを磁北と呼びます。
- オリエンテーリングで使用する地図には、磁北線があらかじめ記入されています。



□等高線とは

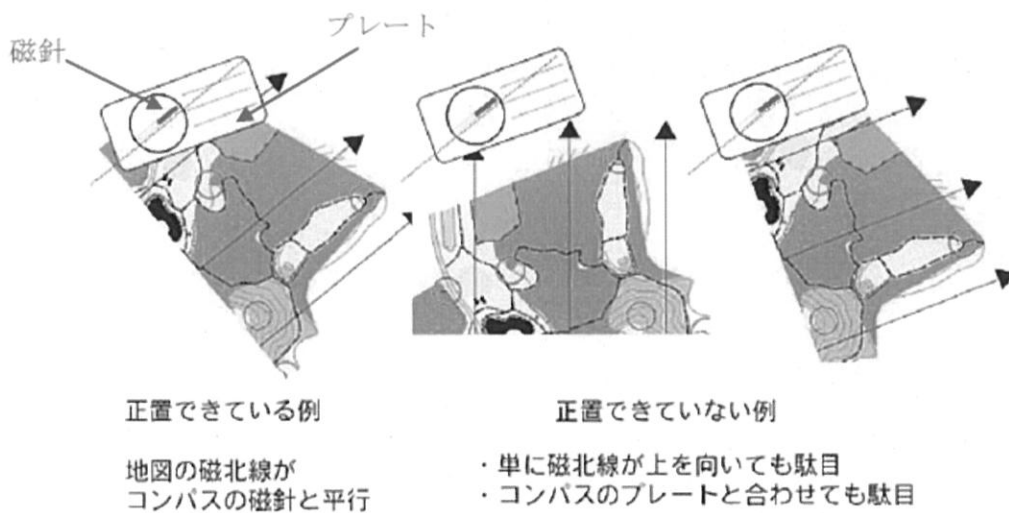
- (使用する地図では) 細い実線が5mごとに、太い実線が25mごとに印刷されています。等高線を見ると土地の高い低いかわかり、さらに等高線の間隔を見ると、斜面が急か緩いのかを読みとることができます。



■コンパスと地図の使い方（基本中のキホン！）

□正置をしよう！

- ・正置とは、体の正面に地図を構え、地図上の磁北とコンパスが指す北とが平行になるように、地図を回転させて合わせることです。



■スコアオリエンテーリングのコツ

□地図から情報を読み取ろう！

- ・地図から見つけやすいものを探そう。
見つけやすいもの例 交差点、大きな建物、池や川

□自分たちの動くスピードを知ろう！

- ・1時間でどのくらい移動できるでしょうか。
- ・500メートル移動するのにどのくらい時間がかかるのでしょうか？

□作戦を立ててから移動しよう

- ・高得点のチェックポイントを少数取るか、低い得点のチェックポイントを多数取るか。
- ・時間が余った時のために、ゴール付近のチェックポイントは後回しにするのも作戦の1つ。
- ・回るチェックポイントを決めたら、いかに効率よく回れるか、ルート決めも作戦の1つ。

□決して無理はしない！

- ・丸火自然公園を中心としたコースですが、分かりにくいチェックポイントもあります。決して無理をせず、迷ったら冷静になって近くの道路まで戻りましょう。緊急時には少年自然の家（0545-35-1697）まで連絡いただいても構いません。

※対応時間：9-17時。月曜・祝日は休所日に対応できません。

丸火スコアOLマップ

静岡県OLパーマネントコース

5 富士愛鷹公認277

6 富士丸火公認278

無断コピー禁止

発行 富士市教育委員会

作成 2000年 5月

静岡県オリエンテーリング協会

縮尺 1:10,000 等高線間隔 5m

黒い矢印線は磁北線

この地図は静岡県OL協作成「ふじ」「富士丸火」「七色石」を編集したものである。

凡例

	主要道路		等高線
	道跡		川
	道		神社
	徒歩道(太い)		石碑
	徒歩道(狭い)		小川
	送電線		池
	植生界		耕作地(立ち入り禁止)
	フェンス		開けた土地
	建物		民家の敷地
			駐車場等

＜オリエンテーリングプログラムについて＞

指定管理者導入に伴い、オリエンテーリングプログラムの実施に当たり、静岡県オリエンテーリング協会（以下、OL協会）より、サポートをいただけることとなりました。

地図作成のプロフェッショナルである OL協会は、地元の子どもたちに「オリエンテーリングを通して、判断力・持久力・読図力を養う」ことを願っており、以下のとおり、サポートが可能となります。

※富士市立の小中学校は富士市教育委員会に著作権のある従来通りのマップを使ってオリエンテーリングを実施することも可能です。自然の家の貸出用マップを使用する場合、料金は不要です。

【サポート内容】

- 1) 最新版のオリエンテーリングマップ（2015年作成）が提供できます。

※従来版は 2000 年作成。最新版では林道など変更になっているルートが反映されています。また、見やすくなっています。

- 2) 学校名、日時を入れたオリジナルマップを作ることができます。
- 3) 独自のコース設定をしたマップを作成できます。

【従来とここが変わります】

- 1) マップ代金が有料となります。(1枚 300 円。※富士市立の小中学校は 2 枚 1 組単位での販売で、1 組 200 円。税込)
- 2) 学校名などを入れる場合、直接 OL協会担当者まで連絡が必要となります。
※新しいマップをそのまま使う場合は、事前連絡は不要です。

【オリエンテーリングプログラムの例】

- 1) 常設コントロールを利用したスコアオリエンテーリング（地図①）
 - ・常設してあるコントロールを決められた時間内にできるだけたくさんチェック（コントロールにあるアルファベットをチェックカードに書く）してくる。
- 2) 常設コントロールの一部を利用したスコアオリエンテーリング、ポイントオリエンテーリング（地図②）
 - ・常設してあるコントロールの一部を使ってスコアオリエンテーリングをする。使うコントロールをお知らせください。必要なコントロールのみを印刷した地図を用意します。
- 3) 独自のコースでオリエンテーリングを行う（地図③）
 - ・コントロールの入っていない地図を用意します。マスターマップをつくり、それを写します。
 - ・コースをお知らせいただければ、コースも印刷した地図を用意します。数回、印刷原稿の確認をメール添付に行います。

いずれも 20 日前までに、どのようなオリエンテーリングを希望するかお知らせください。

学校名を入れる場合も同様です。オリジナルコースを設定する場合は 10 日前までにコースの原稿をお知らせください。

【連絡先】

静岡県オリエンテーリング協会

担当：村越久子

E-mail：m-chako@ac.auone-net.jp

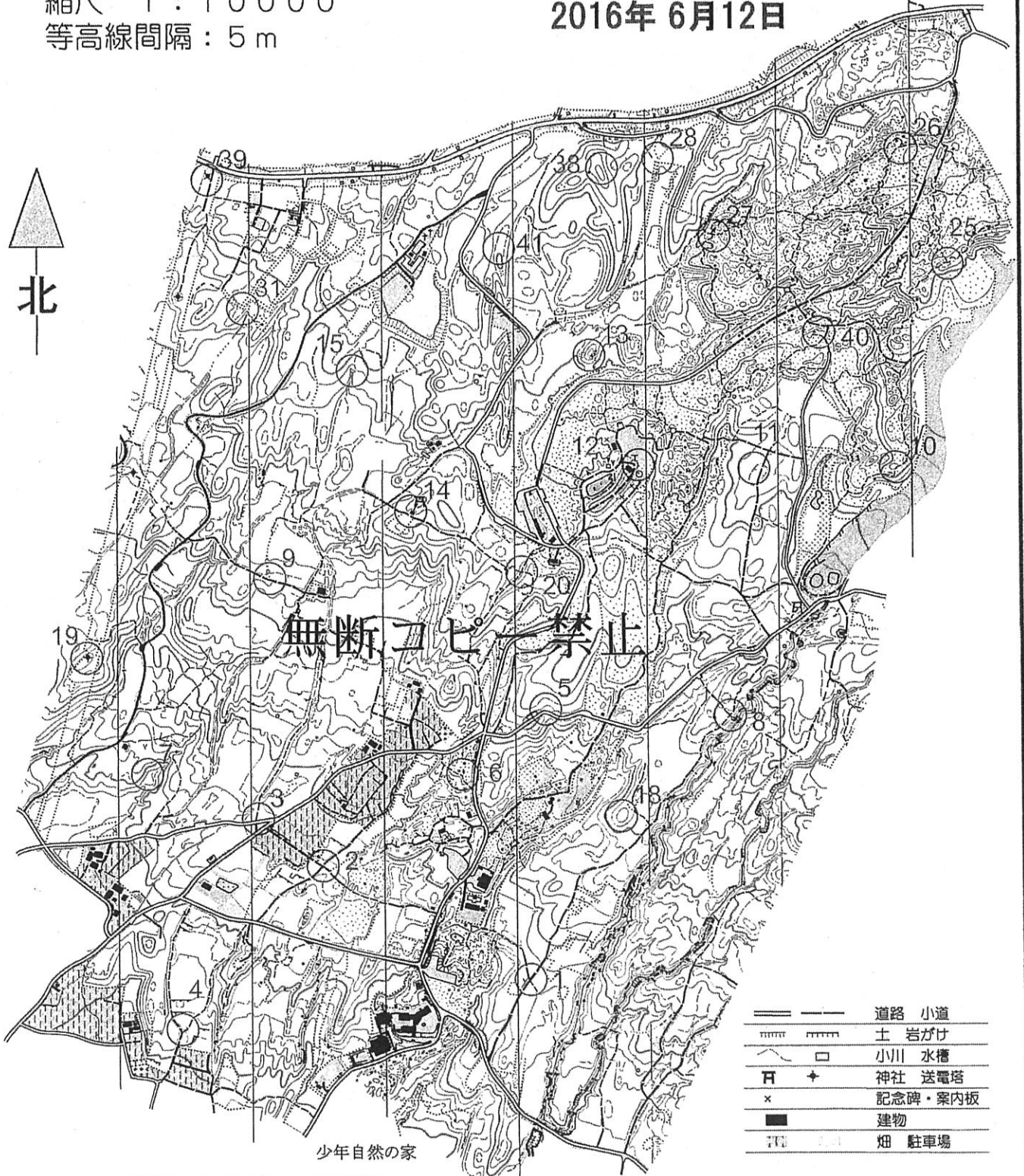
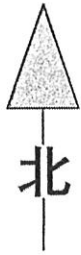
FAX：054-260-4355

丸火自然公園

富士山小学校
5年生 移動教室
2016年 6月12日

地図①

縮尺 1 : 10000
等高線間隔 : 5 m



少年自然の家



- == 道路 小道
- ||||| 土 岩がけ
- ~ 小川 水槽
- 卍 + 神社 送電塔
- x 記念碑・案内板
- 建物
- 畑 駐車場

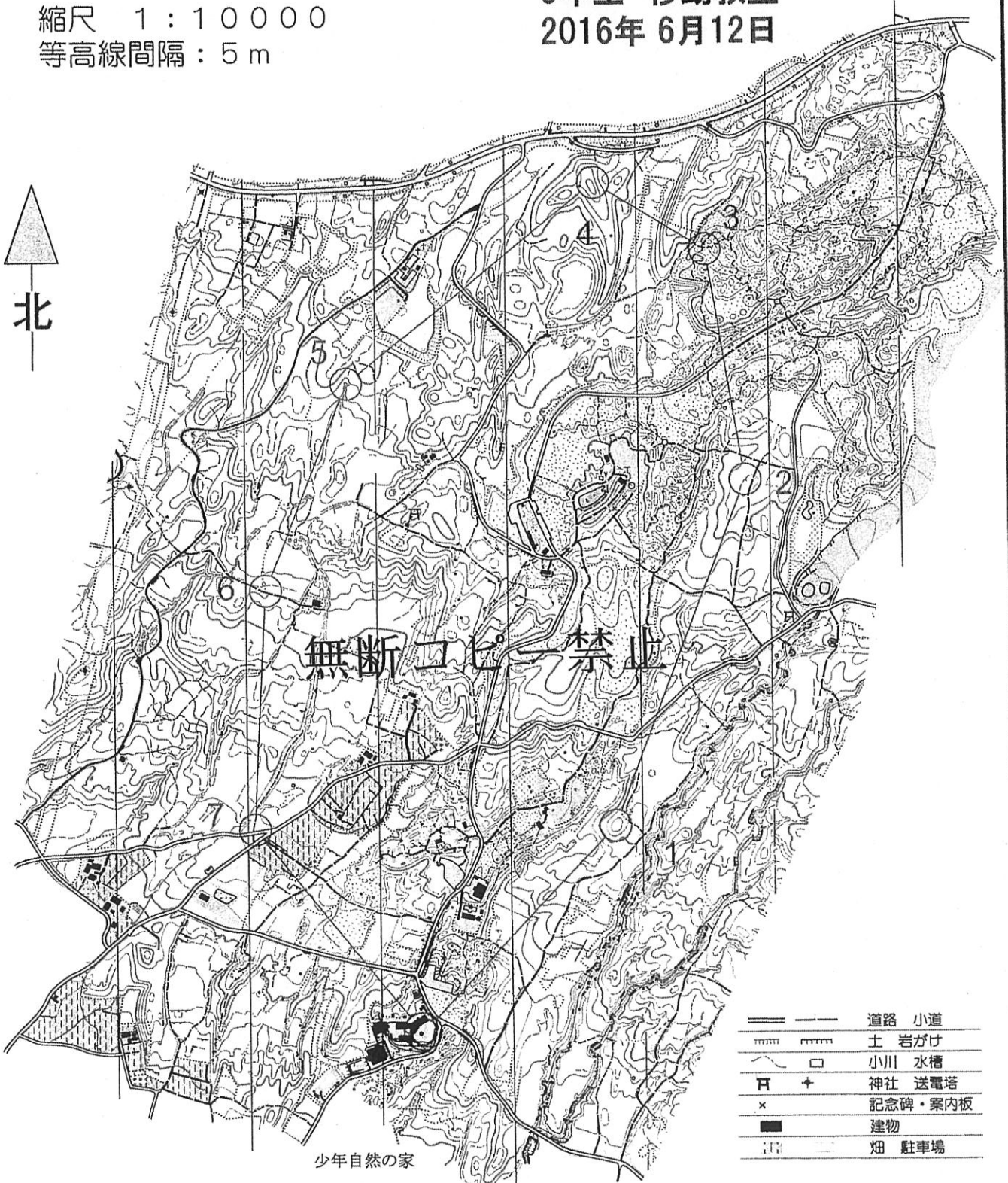
氏名	1	2	3	4	5	6	7

丸火自然公園

富士山小学校
5年生 移動教室
2016年 6月12日

地図②

縮尺 1 : 10000
等高線間隔 : 5 m



無断コピー禁止

少年自然の家



- 道路 小道
- ▨ ▨ 土 岩がけ
- 小川 水槽
- ⌘ + 神社 送電塔
- × 記念碑・案内板
- 建物
- ⌘ 畑 駐車場

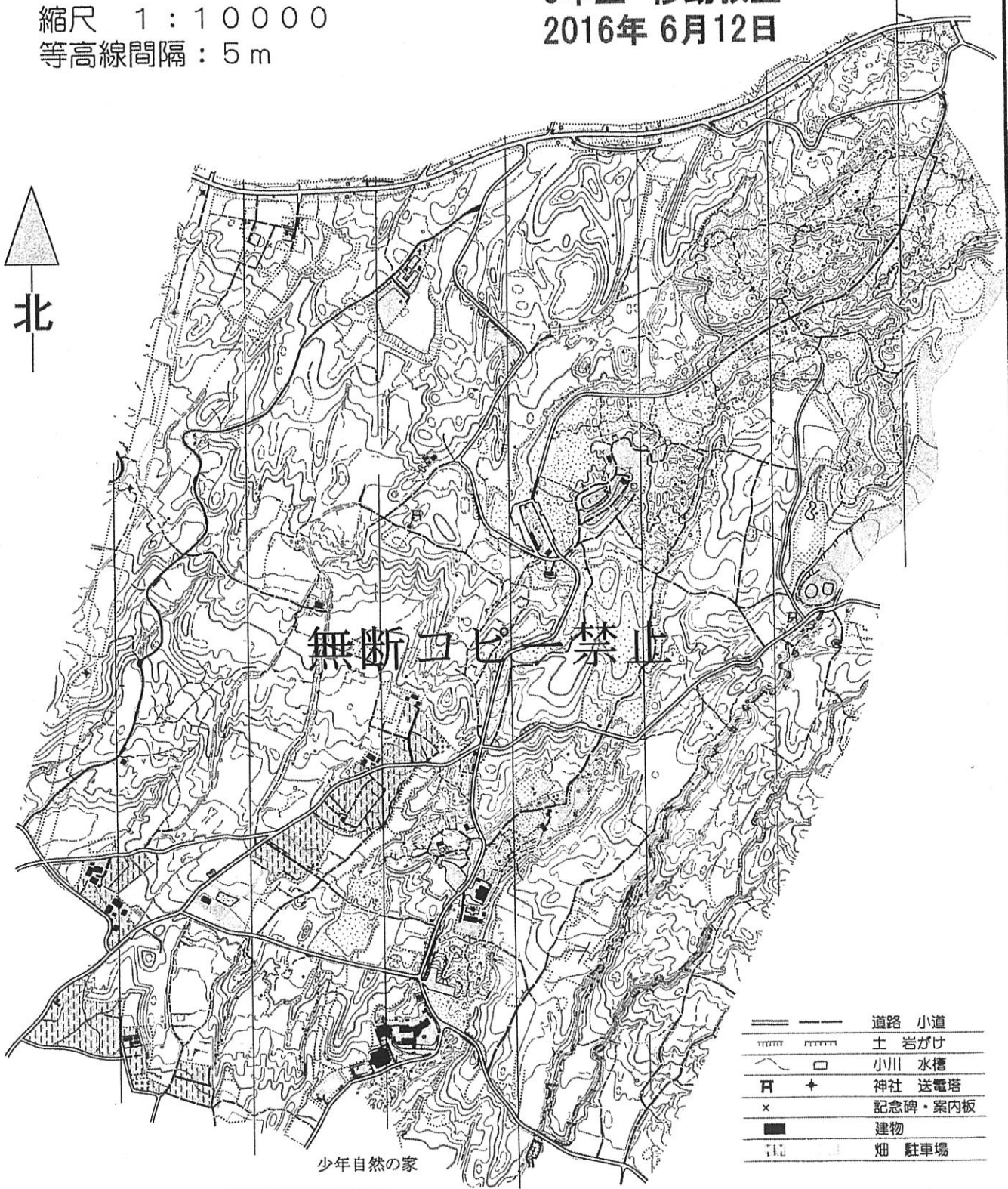
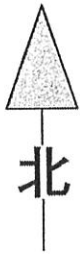
氏名	1	2	3	4	5	6	7

丸火自然公園

富士山小学校
5年生 移動教室
2016年 6月12日

地図③

縮尺 1 : 10000
等高線間隔 : 5 m



無断コピ禁止

少年自然の家

- 道路 小道
- ||||| 土 岩がけ
- ~ 小川 水槽
- 卍 + 神社 送電塔
- x 記念碑・案内板
- 建物
- 田 畑 駐車場



氏名	1	2	3	4	5	6	7

2. 室内オリエンテーリング (以下 室内OL)

ね ら い	1. 少年自然の家を探検して、冒険心、決断力を学ぶ 2. 建物の平面図を正確に読み取る知識を身につける。 3. ルールを守り、協力することを学ぶ。
対象年齢と人数	誰でも可能。 少人数グループ (4~5 人班) で行うのが好ましい。
時 間	1~2 時間程度
方 法	※基本的には、室内で行うリレーOL。 1. 室内OL チェックポイント (以下 ポイント) に、コントロールを立てる。 2. 少年自然の家の平面図に、チェックポイントの位置を書き写す。 3. 班で協力してチェックポイントを回る。
活動できる季節	1年中実施可能 (雨天プログラム)
準備するもの	少年自然の家平面図、回答用紙、ポスト、筆記用具
活動の流れ	1. ポイントにポストを設置 2. マップ台【マスターマップ (設置ポイントを明記してある地図) から平面図にポイントを写す台】を設置 3. ルールを説明する (<u>走らないことを徹底してください</u>) 4. 班内を2~3人ずつに分け、リレー形式でスタート。 (1組が1ポイント見つけたらスタート地点に戻り、次の組に交代。) 5. ゴールしたら、時刻とコントロール記号の確認をして、集計・採点する 6. 時間的余裕があれば、表彰する
留 意 点	1. <u>雨天時には、所内の廊下がたいへん滑りやすくなっています。走らないよう指導をお願いします。</u> 2. 安全で楽しく活動できるように配慮する 3. 他団体と同時入所の場合は、団体同士での調整をお願いします。

《ルールの例》

①走らない。(走ったら減点!)

②決められた順番で、チェックポイントを回る。

1班 ⇒ No. 1 → No. 2 → No. 3 → … → No. 10

2班 ⇒ No. 2 → No. 3 → No. 4 → … → No. 1

3班 ⇒ No. 3 → No. 4 → No. 5 → … → No. 2

③宿泊室には、入らない。(他団体の部屋には、立ち入らない)

※室内用ポストは貸し出しできます。記号カード (裏:クイズ) はご準備下さい。

コントロール16個設置例(スタート・ゴールは研修室の場合)

少年自然の家 室内リレーオリエンテーリング オールコントロール



3. 野外炊事

ねらい	1. 野外炊事で自分が作った食事を味わう 2. 炊事技術（調理・火起こし・炊飯など）を体験する 3. 炊事活動の苦勞を通して、日ごろの家庭での食事に感謝する
対象年齢と人数	小学校中学年から成人まで 少人数グループ（青少年の家炊飯棟には机（16）と備え付けの長椅子があり、大人は6人がけで96名程、子どもは8人がけで128名程度が利用可能です）
時間	2～3時間程度
方法	1. 炊飯棟には24箇所のかまどがあります 2. 食材を調理する 3. 炊飯とおかず作り
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	◆火起こし： <u>薪</u> （1かまど1束が目安）、軍手（ゴム付きは熱に溶けるので不可）、新聞紙、マッチ、不要な割り箸（火起こしの際にあると便利） ◆調理：食材、飯ごう、鍋・包丁・まな板（開いた牛乳パック可）・お玉・しゃもじ・菜箸・ボール等の調理器具、スプーン・箸・皿等の食器類、台ふきん、台所用洗剤、クレンザー（粉タイプ）、ナイロンたわし、排水口ネット（利用する流し台分必要）、ゴミ袋（持ち込みしたものは持ち帰り） ※下線は貸し出し、販売可。
活動の流れ	1. 調理と火起こし、配膳などを役割分担する 2. 調理の順序について説明する（刃物・火の扱いなど安全に留意する） 3. 調理の開始と火起こしの準備（飯盒の炊きあがりに注意する） 4. すべてできあがったら、グループごとに配膳していただく 5. 後片付けをしっかりと
留意点	1. 体験学習の場と考えて、指導者は基本的な指示だけにして、できるだけ手を出さないようにする 2. 火や刃物を扱うため、特に安全で楽しく活動できるように配慮する

【丸火青少年の家炊飯棟を使って炊事を行う場合】

1. 火は、ロストル（鉄製の網）の上で燃やします。（片付ける際熱いので団体に革手袋が1つあると便利）
2. 炊飯用具については、少年自然の家で貸し出しできる物（鍋（24個程度）、包丁（40本程度））もあります。詳細はご相談ください。【※事前申請が必要】
3. 個人で使用する食器類は、持参してください。服装は化学繊維ではない長袖・長ズボンが安全です。
4. 薪は1束374円でご用意できます。【富士市立の小学校は1回分減免対象】【※事後清算】
5. 包丁については、少年自然の家事務室から直接借りてください。
6. 次の使用も考えて、流しやかまど、調理用具類などの後片付けをしっかりとってください。
7. 燃え残った薪は完全に燃焼させ、炭と灰をホウキと塵取りで集めて倉庫3（薪小屋）の南にあるドラム缶の中に入れ、蓋をしてください。【※かまどに水をかけないでください。破損の原因となります】
8. 持ち込んだごみは、持ち帰ってください。食堂で注文した食材のごみは透明ビニール袋に入れて、少年自然の家食堂の厨房入口にあるごみ入れ容器の中に入れてください。

※炊飯施設のみを利用する場合でも、青少年の家の利用申請が必要です。

丸火青少年の家炊飯棟の炊飯用具借用申請書（学校用）

学 校 名

学 校

取り扱い責任者

利用予定日時	年 月 日 () 曜日 午前 ・ 午後 時 分	
返却予定日時	年 月 日 () 曜日 午前 ・ 午後 時 分	
借 用 備 品	借 用 数	確 認 欄
鍋 (24個)	個	
包丁 (40本程度)	本	
使用かまど (24カ所)	ヶ所	
炊飯用薪 (1束 374円)	束	

担当 ()

※上記に必要事項を記入して利用の1週間前までに少年自然の家に提出してください。

包丁については、事前に煮沸消毒をして貸し出します。

※飯盒、おたま、じゃもじなど、その他の炊飯用具類の貸し出しについてはご相談下さい。

丸火青少年の家炊飯棟の利用料内訳書（一般団体）

団 体 名

取扱責任者

TEL

利 用 日	年 月 日 ()	時 分	から
	年 月 日 ()	時 分	まで

炊 飯 用 薪 代	374円	束	円
キャンプファイヤー用薪代	3000円	組	円
オリエンテーリング用地図代	300円	枚	円
小 計 金 額			円

※太枠内に必要数等を記入してください（上記の数については当日変更ができます）

※料金は、現金支払いの場合おつりのないようお願いします。

炊飯用具借用申請書

借 用 備 品	借 用 数	確 認 欄
鍋（24個まで）	個	
包丁（40本程度）	本	
使用かまど数（東12、西12）	個	

※鍋と包丁の借用を希望する場合、必要個数を太枠内に記入してください。

※包丁については、当方で煮沸消毒をしてから貸し出します。

- ・まな板については、〇ー157などの食中毒防止の為、貸し出しできませんので、牛乳パックなどをご持参ください。
- ・上表の借用備品以外は、すべて（個人で使用する食器等）ご持参ください。

この内訳書を、利用1週間前までにFAXか郵送にて少年自然の家までお送りください。

※従来の貸し出し品以外 飯盒等 炊飯用道具
が貸し出し可能となりました。
数に限りがございますので、ご相談下さい。

例：飯盒・おたま・しゃもじ・ボール等

〒417-0801 富士市大淵10847-1

富士市立少年自然の家

TEL 0545-35-1697

FAX 0545-36-2799

炊飯前にぜひやっておきたいこと

野外炊飯は家庭での料理とは違い、火力が強だけでなく灰が飛んだり「すす」がついたりします。とくになべや飯盒についたすすは取りにくいものです。さらに、一度なべについてしまったすすを金だわしで取ろうとするとなべに傷をつけてしまい、雑菌が繁殖するものにもなってしまいます。

そこで、なべや飯盒をクレンザーでコーティングするというテクニックがあります。

コーティングの仕方

- ① 液体クレンザーか台所用中性洗剤に粉クレンザーを入れます。粉クレンザーが多めの方が塗るときにたれません。

できあがったものをスポンジでなべに塗ります。あまり上の方まで塗ってしまうと料理を作るときになべのなかに入ってしまうので気をつけましょう。



- ② 飯盒も同じように塗ります。塗った後はしばらく乾かしておきましょう。乾いたらそのまま火にかけます。半乾きでも大丈夫です。



- ③ さて、使い終わったなべを洗ってみましょう。水をかけるだけで外側のすす汚れがみるみる流れていきます。



- ④ あとは洗剤をつけて軽くこするだけで元どおりぴかぴかになります。



鍋の中に焦げ付きが残っていることがあります。これもそのままにしておくと雑菌のふえる原因になります。ぬめりやこげをきれいに落としましょう。その際、絶対に金だわしを使わないことは、さっき書いた通りです。ナイロンスポンジとクレンザーだけで十分に落ちます。

※ハイゼックス調理やレトルト食品調理の時は、水に（お鍋の中の）小さじ1杯のクエン酸を入れると、黒くなりません。

以上を参考にして、
楽しく学べる炊飯活動にしましょう！

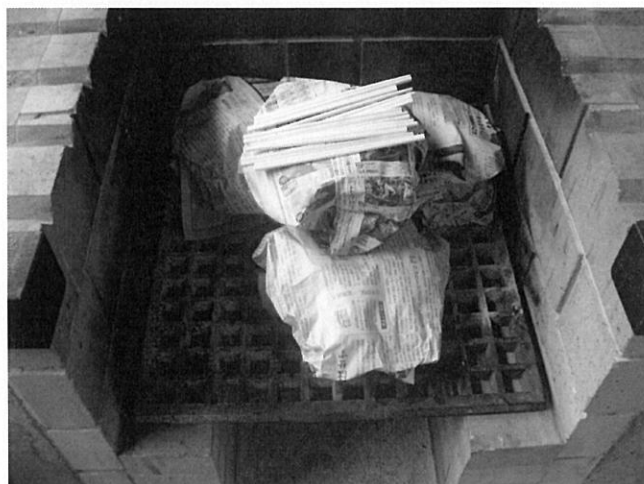
かまどの使い方と効率的な火のおこし方

炊飯棟にはかまどが24基（東西各12基）あります。^{まき}薪を燃やすところ、なべや飯盒^{はんごう}をかけるところを間違えると、かまどを痛めるだけではなくけがや火傷の原因にもなります。

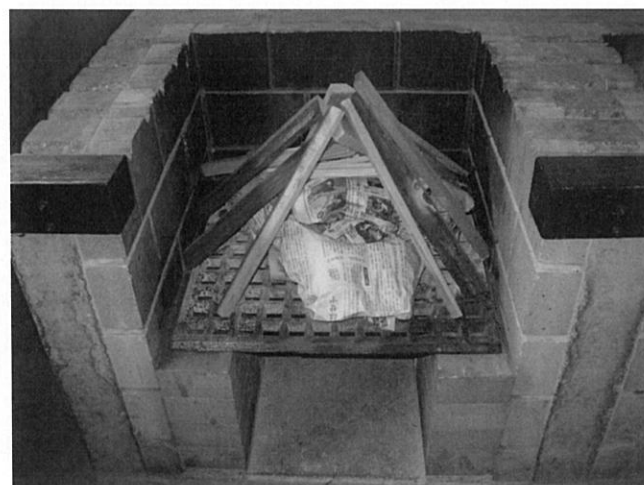
正しくかまどを利用し、けがや火傷のないよう、楽しく有意義な炊飯活動にしましょう。

かまどの使用方法（つかいかた）

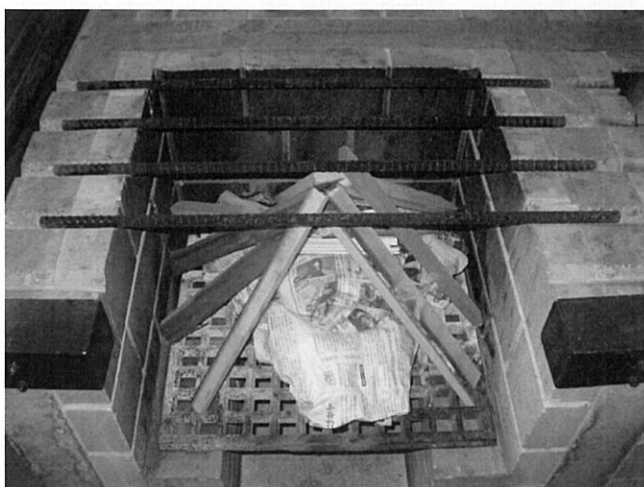
- ① ^{あみ}網のうえに見開きの新聞紙をベレー^{みひら}帽型にまるめたものを四つ置きます。
新聞は酸素^{さんそ}で燃えるので、空気をふくむようにふんわりと丸めるのがコツです。
それができたら、新聞紙のうえに着火材となる割りばしを7、8束ほどのせます。



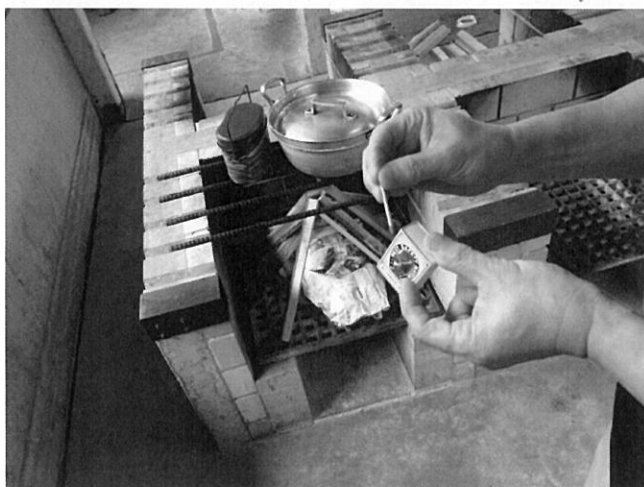
- ② 薪を太いものと細いものに分け、細い薪から、先ほど作った新聞紙のうえに円すい形(ピラミッドのような形)に組む。太い薪はなかなか燃えないので、火の勢いが安定してきたら入れるようにします。



③ 薪が組めたら鉄の棒^{ぼう}をのせます。食材を入れたなべや飯盒を置いたらいよいよ着火です。



④ マッチをすります。火は網のしたからつけましょう。



⑤ 火がついた後の薪は火ばさみで扱います。薪に高さが出るように時々組み直しましょう。



4. クラフト（竹細工）

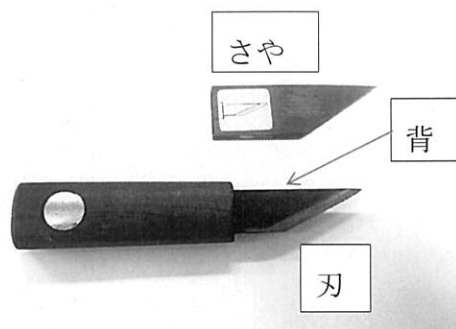
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然の物を使ってものを作る喜びを味わう 2. ナイフ・ノコギリなど、道具の使い方を学ぶ 3. 雨天時の代用プログラムや静のプログラムとして活用できる
対象年齢と人数	小学校高学年から成人まで 少人数（最大70～80人）
時間	2～3時間
方法・種類	竹トンボ、箸、うぐいす笛、ぶんぶんゼミなど
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	ナイフ、カッターマット、ノコギリ、きり、サンドペーパー、竹材、ボンド
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作る物の選択をする 2. 注意事項と指導者の配置（少人数グループごとに1名ずつが理想） 3. 製作開始 4. 清掃・片付け
留意点	材料の準備が必要なため、事前打合せ時に人数と作る物をご相談ください。 材料費100円/1セットかかります。（富士市立の小学校は1セット分減免対象）

貸し出し可能道具

カッターマット（148枚）、のこギリ（折り畳み式47本）、いとのこ（48本）、きり（30本）、
 目打ち（67本）、かなづち（13本）、段ボールカッター（大15、小8）、筆（197本）、
 ピンセット（18本）、スポーツマンナイフ（18本）、クラフトナイフ（15本）、
 カッターナイフ（65本）、はさみ（81個）、小刀（右利き用173本・左利き用25本）、
 小刀作業卓上用ボード（87枚）

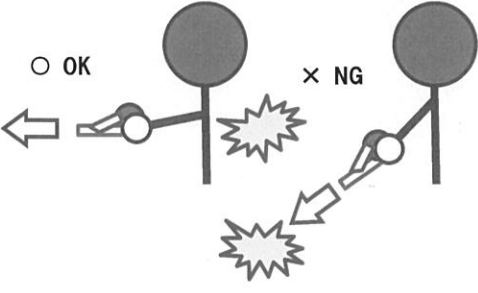
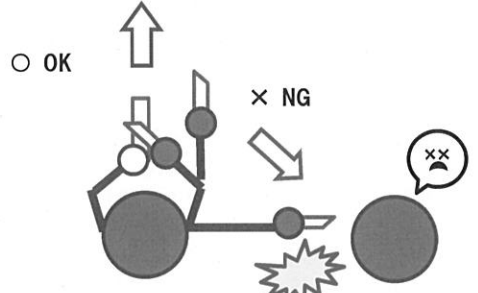
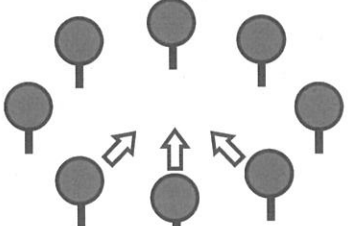
【小刀の使い方の注意】

小刀の名称



	<p>★人に渡す時、持つ時、必ずさやが上になるように持つ。 (さやが抜けやすいため)</p> <p>※使用しないときは、必ずさやをする。</p> <p>※小刀は置く場所を決めたり、席を離れるときは周りに小刀が置いてあることを知らせる。 (例：トイレに行く時など)</p>
	<p>★小刀を持つ手は素手 (滑りにくくするため)、材料を持つ手は軍手を着用する。 (ささくれや小刀でのけが防止のため)</p> <p>※必ず木の部分を持ち、刃の部分は持たない。</p>
	<p>【さやの抜き方】</p> <p>親指と親指で押し合うようにして、両手でゆっくりとさやを抜く。</p> <p>※手を切らないように注意！</p>
	<p>★小刀は刃の白い部分が見える方を表にして使う。竹に対して水平に、なるべく刃を寝かせて削る。 (☆浅く、ゆっくり、少しずつ削る。)</p> <p>※竹を支える手が、小刀を持つ手より前に来ないようにする。</p>
	<p>★微調整は支える手の親指で刃の背を押して少しずつ削る。</p>

【削る時の注意】

 <p>○ OK</p> <p>× NG</p>	<p>★小刀は<u>人の居ない方向に、水平に削る。</u></p> <p>★竹の端を床に置いたり、下に向けて削らない。 <u>必ず作業は空中で行う。</u></p>
 <p>○ OK</p> <p>× NG</p>	<p>★削るときは、ひじから先を動かすようにし、<u>腕を振り切らない。</u></p>
	<p>★多人数で行うときは円になり、隣の人と十分な広さを取り、中心に向かって、真っすぐ小刀を動かす。</p>

5. クラフト（紙バンド）

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 富士市が紙の町になった理由を探る。 2. 紙バンドの利用法を知り、郷土の特産品を知る。 3. 伝統的な編むという文化にふれる。 4. 環境教育（再生紙の利用）
対象年齢と人数	小学校中学年から成人まで （最大300人）
時間	1～3時間
方法・種類	こま、コースター、セパタクロールボール など
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	はさみ、木工用ボンド、せんたくばさみ、セロテープ（10 cm位/1人） マジックペン
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紙のまち富士市についての講話 2. 紙バンド配付 3. 製作開始 4. 清掃・片付け
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の準備が必要なため、事前打合せ時に人数と作る物をご相談ください。 ・人数分に紙バンドを切り分ける作業があります。 ・材料費 100 円/1セットかかります。（富士市立の小学校は1セット分減免対象）

※このプログラムは所員の指導可能プログラムとなっています。

木工用ボンド、せんたくばさみ（小さめの方が扱いやすい）、はさみ（1人ひとつが望ましい）をご準備下さい。

6. 丸火の森のノルディックウォーキング（要事前予約）

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2本のポールを使い、坂の多い丸火公園内を楽にウォーキングする。 2. 季節の動植物を楽しみながら歩き、自然に親しむ。
対象年齢と人数	<p>中学生以上で4キロ程度の歩行が可能な人</p> <p>所員1名につき2名以上15名以内最大30名（指導料：所員1名につき5,000円）</p>
時間	2時間程度
方法	<p>北欧生まれのポールを使ったウォーキング。</p> <p>坂の多い丸火公園内もポールを使えば楽に、そして膝への負担も軽減できます。</p>
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	<ol style="list-style-type: none"> 1. ノルディックウォーキング専用ポール（貸出可） 2. 運動のできる服装、シューズ、飲み物
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウォーミングアップ 2. 初心者向けのノルディックウォーキング講習 （ポールのつかいかた、歩き方） 3. ガイドが動植物の紹介をしながら森を歩く 4. クーリングダウン
留意点	日本ノルディックフィットネス協会公認インストラクターがご案内します

7. ナイトウォーク

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夜の自然の中で自分を見つめる 2. 夜の自然の静けさや暗さ、月明りのありがたさを知る 3. 暗闇の中、五感を働かせる
対象年齢と人数	<p>小学校低学年から成人まで 少人数グループ単位で実施する</p>
時間	30分～1時間
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 20～30名位を1グループとして引率者について暗闇を歩く 2. 広く安全な場所で、暗闇の中で五感を使ったゲームなどを楽しむ
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	・懐中電灯（点灯してよい場所のみ使用）
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. クラス（20～30名）別グループで集まる 2. 活動の説明をする（危険防止の徹底） 3. 注意事項（さわがない、走らない、懐中電灯を点灯しない） 4. 引率指導者について森の中を歩く 5. 開けた安全な場所で、五感をつかったアクティビティを体験する 6. 帰着時に人数確認をする
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必ず事前下見を実施して、危険箇所を確認のうえコース設定する 2. ライトは極力少なめに持たせる（少年自然の家のペンライト程度で可） 3. 危険防止のため、絶対にふざけたり走ったりしないことを徹底させる 4. ナイトウォークは、夜の自然を五感で感じることを目的です。

※ペンライト（単3乾電池2個使用・100本）は、少年自然の家で貸し出しできますが、使用する乾電池は団体でご用意ください。また、事前打合せの時にペンライトの必要数を申し出てください。

※従来よりも明るくなる新しいライト（単3乾電池1個使用）40個も貸出可能ですが、使用する乾電池は団体でご用意ください。

※事前予約で、有料で対応できます。所員1名につき、15名以上最大30名まで対応可。

料金：参加者1人100円。

8. 星座観察

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夜空の星を観察することによって、宇宙の壮大さ、不思議さを実感する 2. 星座名や星座の神話などを学ぶ 3. 自然の中の自分を確認する 4. 環境教育の一環になる 	
対象年齢と人数	小学生から成人まで 何人でも	
時間	2～3時間	
方法	宇宙の話、星座の神話、星座の探し方などを学習してから、野外へ出て実際の夜空を観察する	
活動できる季節	1年中実施可能（ただし、春・夏は靄が多くて観察しづらい）	
準備するもの	宇宙・星座に関する資料、星座盤、双眼鏡、天体望遠鏡	
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇宙の話、星座の神話、星座の探し方などを学習する 2. 野外へ出て、実際の夜空を観察する 3. 天体望遠鏡の扱い方などを指導しても良い 	
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冬の観察会は、厳寒のため防寒具を着用し、短時間で実施する 2. 天体望遠鏡は、指導者の指導下で設置・使用してください 3. 対象年齢にあった内容の学習・観察会にする 4. 月齢や天気を見て計画する 5. 短時間のアウトプログラムとしての活用も可 	

※移動式80mm屈折天体望遠鏡【2台】、双眼鏡【39台】、スポッティングスコープ（三脚付き）【1台】貸し出し可能です。損傷した場合は弁償して頂きます。

※ 事前に使い方の説明（30分程度）を受けていただきます。操作説明を受けていない方の利用はお断りします。

※自作星座盤（1枚100円）…1時間程度の製作時間が必要

※事前に少年自然の家にご相談下さい。

※事前予約で 所員による星座解説が対応可能です。所員1名につき15名以上最大30名。

料金：参加者1人100円。

9. 富士山ジオトーク

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火山としての富士山の自然を学ぶ 2. 富士山が世界文化遺産である特徴を学ぶ 3. 環境教育、防災教育の一環になる
対象年齢と人数	小学校高学年から成人まで 何人でも
時間	50分程度
方法	室内（研修室、食堂、体育館等）で、富士山の自然をパワーポイントスライドでクイズやハンズオンの教材を交えて学ぶ。
活動できる季節	1年中実施可能（室内で実施）
準備するもの	パソコン、スクリーン、プロジェクター、火山（ハワイの溶岩流）のDVD等 ※資材は少年自然の家で準備します。
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに：挨拶、諸注意 2. 富士山の自然について、スライドショー及び教材により学ぶ 3. ふりかえり
留意点	団体指導者様の思いを取り入れたご希望のテーマに沿っての展開も可能ですので、事前打ち合わせ等でご相談をお願いします。

※事前予約で、有料で対応できます。所員1名につき約250名まで対応可。

人数に応じて室内の各部屋（研修室、食堂、体育館等）で実施。

料金：参加者1人100円。

10. 丸火で洞窟探検（丸火の溶岩洞穴や溶岩樹型を知ろう）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットを装着し、溶岩洞穴をくぐるなどの体験を通して、個人の忍耐力やグループでの協調性を養う。また、溶岩洞穴・溶岩樹型のでき方を身近に感じ、自然を見る目をより豊かにする。 ・丸火自然公園内にある炭焼き跡・コナラ林・針葉樹林から、植林・炭焼きの歴史を学ぶ。
対象年齢と人数	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年から成人まで ・人数は10～150人（人数が多い場合は、いくつかのグループに分ける）
時間	<ul style="list-style-type: none"> ・6時間程度
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング形式で、クラスまたはグループごと実施する。
活動できる季節	<ul style="list-style-type: none"> ・1年中実施可能（特に見通しのよい秋～早春）
準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・コースタイムスケジュール・園内マップ・ヘルメット・ライト・筆記用具・帽子・手袋・タオル・飲み物・食べ物（昼食）
活動の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体的の場合→1人指導者を決め、ポイントごとの説明やコースの下見・タイムスケジュールを事前に学習しておく。 ・説明内容は、負担にならないよう自然の家で紙芝居を用意しておく。 ・中央広場が休憩（食事）ポイント。 ・溶岩洞穴は実際に内部を探検する。（必ずヘルメット着用） ・詳細は洞窟探検タイムスケジュール・マップによる。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて体験する活動が多いので、必ず指導者は下見や事前の打ち合わせを行う。その際に、所員が詳しく活動内容・コースを説明いたします。 ・ポイントの説明用の紙芝居をお渡しするので、それを見ながら説明する。 ・地形地質は破壊されると絶対に元に戻らないので、溶岩洞穴・溶岩樹型炭焼き跡の保存を強く意識させる。

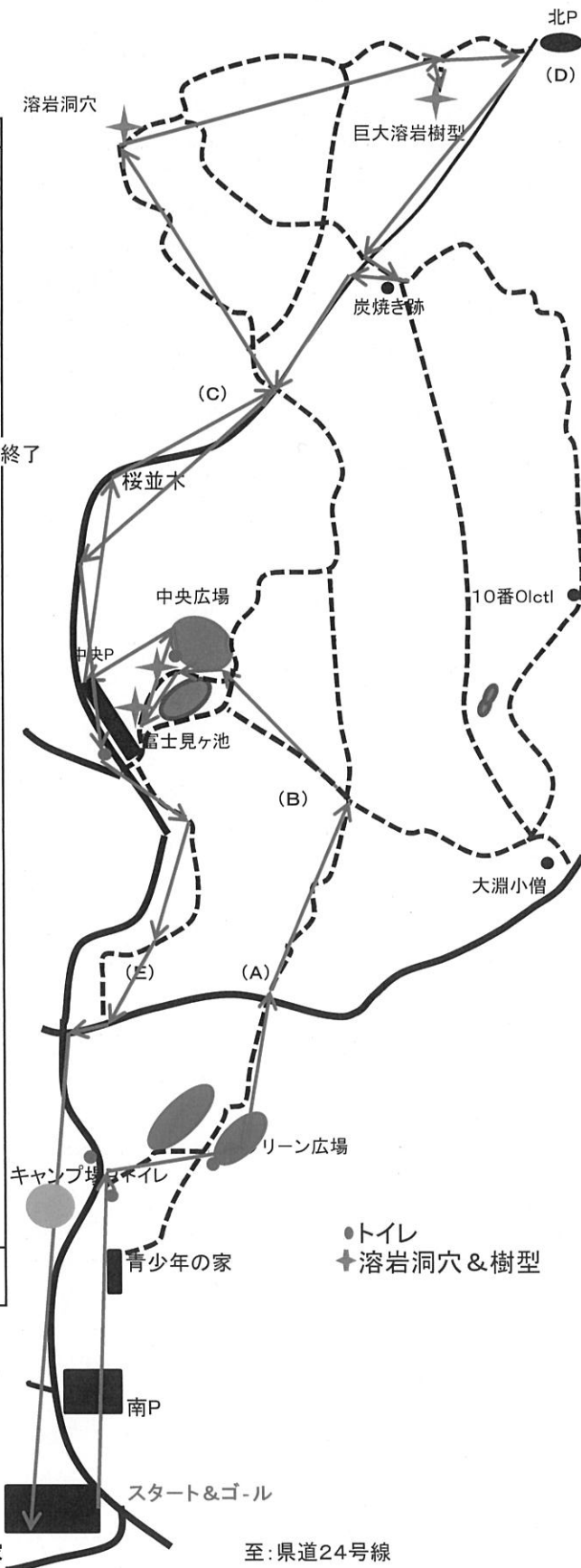
※指導について、事前に少年自然の家にご相談下さい。

※ヘルメット・ライト（40本）は貸し出し可能ですが、使用する乾電池は団体でご用意ください。（単3乾電池1個使用）

丸火で洞窟探検コースタイムスケジュール

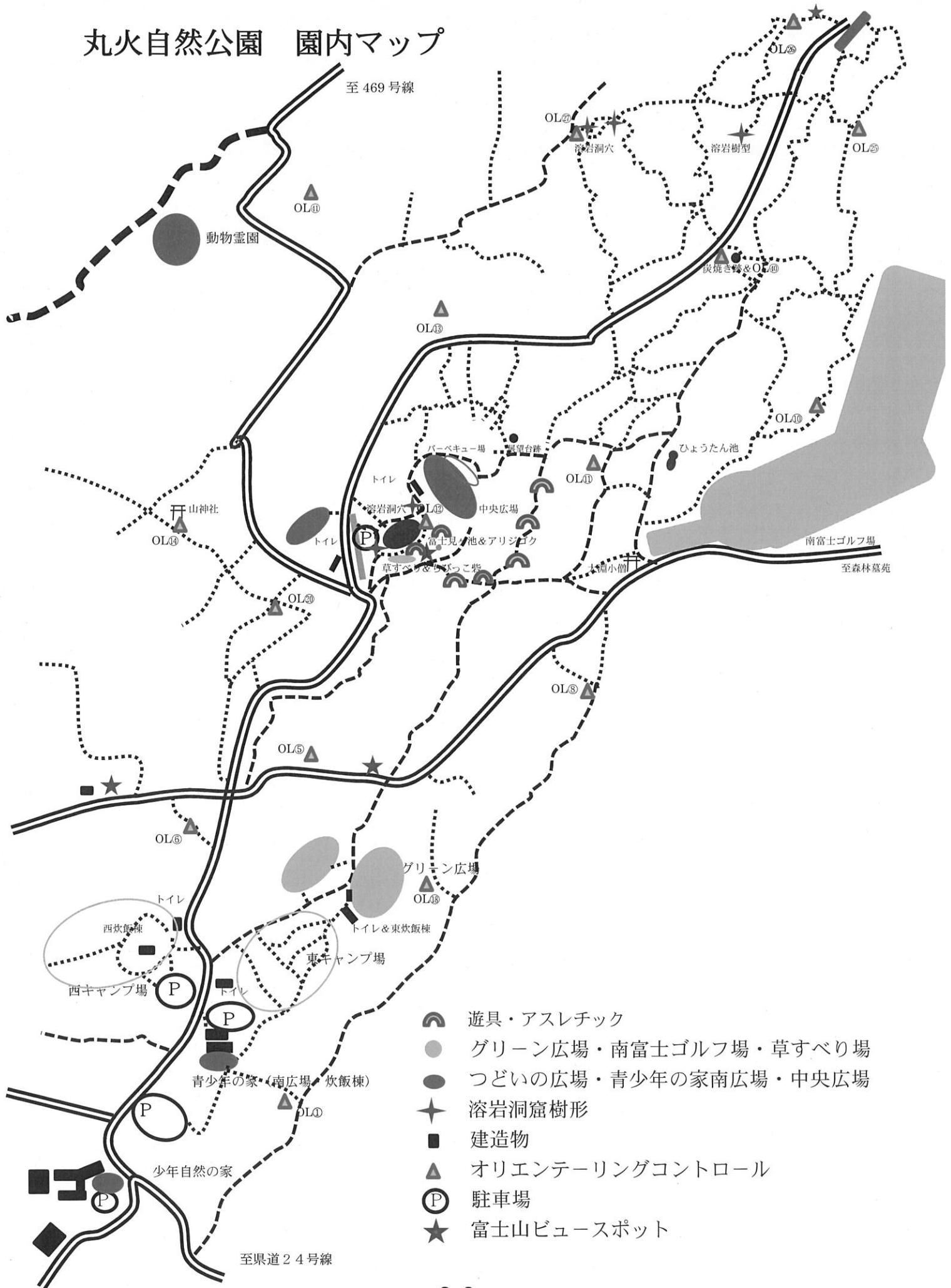
少年自然の家10:00出発～16:00到着予定

所要時間	到着時間	場所・プログラム・出発時間
	10:00	富士市立少年自然の家 出発 10:00
0:10	10:10	丸火キャンプ場グリーン広場 * 準備体操・出発10:25
0:20	10:30	(A)地点(万葉コース)東屋車止め付近
0:05	10:35	(B)地点アスレチック四角ロープ交差点付近
0:05	10:40	中央広場:トイレ休憩と説明 10:55出発
0:20	11:00	富士見ヶ池溶岩洞穴探検洞穴説明(紙芝居使用)11:35終了
0:50	11:50	富士見ヶ池溶岩樹型見学 12:00終了
0:20	12:10	中央広場に戻る:昼食休憩・トイレ休憩・出発13:00
1:00	13:10	(C)地点桜並木舗装路交差点
0:20	13:30	溶岩洞穴探検 * 出発14:15
0:55	14:25	巨大溶岩樹型 * 樹型説明 出発14:40
0:25	14:50	(D)地点 桜並木北P空地付近
0:10	15:00	炭焼き跡地 * 植林と炭焼きの説明 出発15:10
0:12	15:12	桜並木に戻る
0:03	15:15	(C)地点桜並木舗装路交差点付近通過
0:05	15:20	中央P * トイレ休憩 出発15:35
0:10	15:50	(E)地点 舗装道路ではなく万葉コースを通過
0:05	15:55	西キャンプ場P付近通過
0:15	16:00	富士市立少年自然の家 到着16:00
6:00		* 全行程 4.3km



- * グリーン広場(準備体操)
- * 富士見ヶ池附近溶岩洞穴探検
- * 富士見ヶ池附近溶岩樹型見学
- * 炭焼き跡(炭焼きの説明)
- * 巨大溶岩樹型見学
- * 巨大溶岩洞穴探検

丸火自然公園 園内マップ



- 遊具・アスレチック
- グリーン広場・南富士ゴルフ場・草すべり場
- つどいの広場・青少年の家南広場・中央広場
- 溶岩洞窟樹形
- 建造物
- オリエンテーリングコントロール
- 駐車場
- 富士山ビュースポット

11. 溶岩流を追い求めて！！（富士山を知ろう）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・岩石を割る、斜長石を見つける、溶岩トンネルをくぐるなどの体験を通して溶岩流や富士山のでき方を身近に感じ、自然を見る目をより豊かにすることができる。 ・丸火自然公園に溶岩流を観察するための貴重な露頭（場所）がたくさんあることを知り、公園の自然を大切にすることを意識を高める。
対象年齢と人数	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年から成人まで ・人数は20人前後（岩石ハンマーを2人で一本） <p>下記の活動の流れ参照</p>
時間	3～4時間程度
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング形式で実施する。
活動できる季節	1年中実施可能（特に露頭の見学に適した晩秋～早春） 自然観察などできない冬場の活動に最適。
準備するもの	コース説明図・岩石ハンマー・安全めがね・ヘルメット・ライト・メジャー・コンパス・溶岩の上を歩くのでトレッキングシューズ・筆記用具・帽子・手袋・タオル・飲み物・食べ物（昼食）
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループ全体の場合→1人指導者を決め、ポイントごとの説明や体験学習の内容を事前に学習しておく。 2. 班単位→班の中に指導者をつくり、指導者が事前学習しておく 3. 指導者が何人もいる場合→グループに分け、ウォークラリー形式にし、各ポイントに説明者を決めて、ポイントごとに説明や体験をする。 (溶岩の上は危ないので、ふざけたり、走らないことを徹底してください) <ul style="list-style-type: none"> ・富士見が池周辺が休憩（食事）ポイント ・対象年齢により、観察ポイントを選択する。 <p>※ 2・3の場合は、参加人数は100人ぐらい可能</p>
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初めての体験する活動が多いので、必ず指導者は下見や事前の打ち合わせを行う。その際、職員より詳しく説明いたします。 2. 各ポイントに説明資料を渡すので、それを見ながら説明や、石を割る体験をさせて欲しい。 3. 地形地質は破壊されると、絶対に元に戻らないで、観察ポイントの保存を強く意識させる。

※指導について、事前に少年自然の家にご相談下さい。

※数に限りがありますが、岩石ハンマー（10本）、安全メガネ、コンパスは貸し出し可能です。

※富士市民団体は富士市環境アドバイザーに依頼することもできます。

詳しくは、下記の富士市環境アドバイザーのホームページをご覧ください。

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sp/kurashi/c0901/fmervo0000003ce7.html>

12. 越前岳登山

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標高1,504mの越前岳の自然の雄大さを実感する 2. 子どもの冒険心に働きかけ、チームワークを育てたり、達成感を味わわせたりする 3. 自分の体力に合わせて目標を立てさせ、体力作りに挑戦させる
対象年齢と人数	小学校高学年から成人まで 何人でも（多人数の場合は、引率指導者も多めにする）
時間	5～6時間
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山頂までの往復の途中で、何箇所かで休憩をとる 2. 山頂で昼食をとるつもりで時間を設定する
活動できる季節	春から秋
準備するもの	登山に必要な装備、帽子、タオル、昼食、水筒、軍手
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出発前に健康チェックをし、用便を済ませる 2. 登山の説明をする（マナーの徹底） 3. 注意事項（危険防止のため） 4. ペースに留意し、休憩場所を設定しておく 5. 山頂での昼食終了後、下山時の注意事項を説明する（滑落防止など） 6. 帰着時に人数を確認し、健康チェックをする
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必ず下見を実施して、危険箇所の把握に努める 2. 年齢、体力に応じてコースや所要時間を設定する 3. 体力に応じて登る速さを考慮する 4. 登山口までの行き返りにバスを利用する方法もある 5. 天候や進行によっては途中でひきかえすことも（下見で判断基準を決めておく）頭に入れておく。無理はしない



※越前岳登山口から少年自然の家まで団体で歩く計画がある場合は、次頁のルート案内図を参考にしてください。

※十里木からの登山ルートにつきましては、所員で下見を実施したスタッフブログを参考にしてください。（2018年5月、「越前登山 越前岳に登ってきた！」）

13. キャンプファイヤー

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火を囲み、自然との触れ合いをする 2. 友と語り、歌い、踊ることを通して、仲間意識を高める 3. 火の明るさ、暖かさを感じることを通して、火の大切さを知る
対象年齢と人数	小学校低学年から成人まで 何人でも
時間	1時間～2時間30分
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火の大切さをセレモニーで演出する（点火式） 2. 火を囲んで、歌、踊り、スタンプなどを楽しみ、親睦を深め合う 3. 消えていく火を囲んで、1日の出来事を振り返ったり、自分を見つめたりして、心を静める（送火式）
活動できる季節	原則1年中実施可能（秋・冬は火災に注意する）
準備するもの	<u>ファイヤーサークル、薪（丸太20本、粗朶）、トーチ、灯油、タイマツ用ぼろ布、火の神等の衣装、放送設備（マイク、アンプ貸し出し可）、コードリール、ほうき、ちりとり、一輪車</u> ※下線は貸し出し、販売可
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員静かに入場する 2. 歌やハミングなどで営火入場を迎える 3. 点火の後、営火長（または、火の神）の話を聞く 4. 歌やゲーム、スタンプ、踊りなどで楽しむ 5. 火が下火になってきた頃、静かな歌を歌う 6. 営火長（または、火の神）の終わりの話を静かに聞く 7. 消えていく火を見つめながら一日を振り返り、静かに退場する
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前下見で役割のリハーサルを行う 2. 係は、営火長（火の神1名）、火の子（数名）、営火係（数名）、司会 3. 雨天時用に別プログラムを用意する（キャンドルファイヤー） 4. 終了後は、ホースで水をかけて完全に消火したことを確認する 5. 時間内で燃やしきれぬ量の丸太、粗朶を利用してください。大きな燃え残りが出ないようにお願いします。

※丸太・粗朶薪などは、一組3000円で用意できます。（富士市立の小学校は減免対象）

※放送機材（営火場に常設の放送設備はありません。）など、必要な道具については、事前打合せ時に所員にご相談ください。

※風が強い時などは、野外でのキャンプファイヤーを中止して、体育館などでのキャンドルサービスに変更してもらうこともあります。

※清掃は翌朝の清掃時間帯に行ってもらいますが、燃え残った薪や炭などは所定の場所（薪小屋の横）に捨ててください。なお、清掃用具は倉庫内にあるものを使用してください。

※火をつけたトーチはファイヤー点火後指導者が地面にすりつけるなどして、速やかに消化して下さい。トーチ先端の竹の劣化防止にご協力下さい。

14. キャンドルサービス

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静かな明かりのもとで、仲間との友情や団結を誓う場とする 2. 友と語り、歌い、踊ることによって、仲間意識を深める 3. 明かりを見つめることを通して、1日の出来事や自分を振り返ってみる
対象年齢と人数	小学校低学年から成人まで 何人でも
時間	1時間程度
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. セレモニーでキャンドルライトの神聖さを演出する（点火式） 2. 歌、踊り、スタンプなどを楽しみ合う中で、仲間意識を深める 3. 1日の出来事や自分を振り返ったりして、心を静める（送火式）
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	<u>擬似ファイヤー（電灯式）、トーチライト、火の神の衣装、放送設備、ペンライト（キャンドルの代用）</u> ※下線は貸し出し可
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員静かに入場する 2. 歌やハミングなどで聖火入場を迎える 3. 点火の後、聖火長（または、火の神）の話を聞く 4. 歌やゲーム、スタンプ、踊りなどで楽しむ 5. 火が下火になってきた頃、静かな歌を歌う 6. 自分を見つめる誓いの言葉や詩の朗読などをする 7. 聖火長（または、火の神）の終わりの話を静かに聞く 8. 静かに退場する
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前下見で役割のリハーサルを行う 2. 係は、聖火長（火の神1名）、火の子（数名）、聖火係（1名）、司会 3. 擬似ファイヤーであるため、日の持つ神聖さを演出する方法を考える 4. 体育館・研修室は実際のローソクの使用はできません

※擬似ファイヤー（体育館・研修室に各1基）、トーチライト（9本）、ペンライト（100本）は貸し出し可能です。

トーチライト: ・普通サイズ6本（単2電池2個）・太い短め×2本（単1電池2本）
・長め×1本（単2電池2本）

※ペンライトの電池（単3電池2個）、トーチライトの乾電池は、利用団体で必要数ご用意ください。

15. ナイトハイク

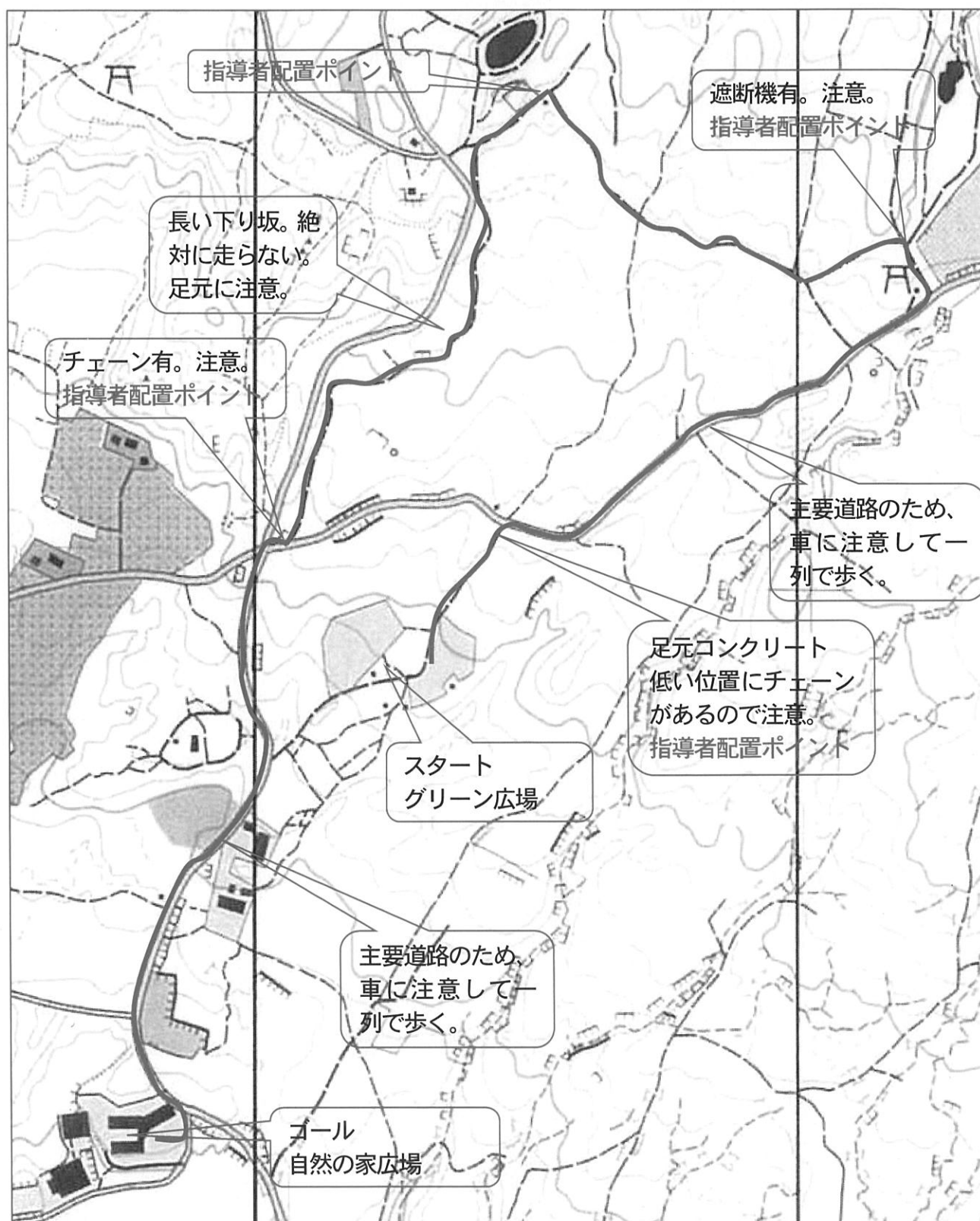
ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夜の自然の中で自分を見つめる 2. 夜の自然の静けさや暗さ、月明りのありがたさを知る
対象年齢と人数	小学校低学年から成人まで 少人数グループ単位で実施する
時 間	30分～1時間
方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前にコースに設置された浮きライト（赤・緑色）を目印に進む 2. 闇夜の中で、聞こえてくる音や星の明るさを感じながら歩く
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	・ <u>単3乾電池は各団体で用意</u> 浮きライト、懐中電灯またはペンライト（グループで1～2個）、ゼッケン
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前に浮きライトの設置と危険箇所への指導者の配置をする 2. スタート地点まで全員を誘導する 3. 活動の説明をする（危険防止の徹底） 4. 注意事項（グループ行動、ふざけない、絶対に走らない） 5. 先頭と最後尾が懐中電灯を持って、グループごとに3～4分間隔でスタートする（グループリーダーがゼッケン着用） 6. 帰着時に人数確認をする
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必ず事前下見を実施して、危険箇所を確認のうえコース設定する 2. ライトは極力少なめに持たせる（少年自然の家のペンライト程度で可） 3. 危険防止のため、絶対にふざけたり走ったりしないことを徹底させる 4. コースに設置する浮きライトは、次のポイントが見える程度の間隔で設置する 5. 団体によっては、肝試しと称してコース途中に脅かし役を配置したりしますが、夜間で足元も不安定で危険ですのでお勧めできません。 6. ナイトハイクと肝試しは目的が異なります。夜の自然を五感で感じるのか、単なるゲームとするのか、目的を確認したうえでの実施をお願いします。

※浮きライト（単3乾電池1個使用）とペンライト（単3乾電池2個使用・100本）は、少年自然の家で貸し出しできますが、使用する乾電池は団体でご用意ください。また、事前打合せの時に浮きライトとペンライトの必要数を申し出てください。

※従来よりも明るくなる新しいライト（単3乾電池1個使用）40本も貸し出し可能ですが、使用する乾電池は団体でご用意ください。

※「浮きライト」の代わりに「サイリウムケミカルライト」（団体で準備）の利用もおすすめです。

ナイトハイクコース提案



◎コース総延長：約2.6 km

所要時間：1グループ30分程度

◎12グループで2分間隔の場合、スタート場所までの時間を含め、総所要時間およそ80分

◎リスク：主要道路での事故・長い下りの林道での転倒が主たる要因として考えられる。

16. 自然あそび1 (丸火でビンゴ=フィールドビンゴ)

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゲームを通じて、楽しく自然観察を行う 2. 五感を使って自然に触れることにより、自然に親しむきっかけとする 3. 人それぞれの感じ方の違いを知り、共感する 4. 環境教育の一環になる
対象年齢と人数	小学校中学年から成人まで 何人でも
時間	1時間程度
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 数字の代わりに自然の事物を書いたビンゴカードを用意する 2. 制限時間と観察範囲を決めて、自然物探しをする 3. 見つけた自然物があったら○で囲む 4. 制限時間終了後、集合して発見した自然物を確認し合う 5. いくつビンゴができたか評価し合う
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	ビンゴカード (各団体で用意) 筆記用具
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゲームの説明をする (帰着予定時刻・集合場所を伝えておく) 2. ビンゴカードを全員に渡す 3. 一斉にスタートする 4. 制限時間内にゴールする 5. 集合して、お互いに見つけた自然物を発表し合う 6. お互いの感じ方の違いを知り、共感する 7. できたビンゴの数を評価し合う
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 帰着時間を設定しておく 2. 植物や動物の名前を覚えることが目的ではないことを伝えておく 3. 自然と触れ合い、五感を使って自然を感じさせる

【ビンゴカード例】

水の音	ぬけがら	鳥の声
チクチクするもの	くもの巣	きのこ
動物の落し物	木の実	匂いのする物

※マス目は9～16マス程度にする

※ビンゴカード見本があります。ご相談下さい。

まるびでビンゴ

富士市立少年自然の家

なまえ

風の音	いい におい	クモの巣	コケが はえて いる木	年輪
動物の 落とし物	木の芽	カラス の声	ぬけがら	季節を 感じる もの
大きな葉	スベスベ するもの	まるびで ビンゴ	チクチク するもの	アリ
黄色い花	白い花	木の実	きのこ	食べあと
飛んで いるもの	あしあと へ へ	チョウチョ	虫の声	紫色の花

タテにそろうか？ヨコにそろうか？それともナナメ??
もしかして全部？

さあ～、どんなビンゴが出来るかみんなでチャレンジ！

※富士市立の団体様：このビンゴ表は、少年自然の家関係の公開ホルダ、「活動プログラム用資料内」にPDFファイルがあります。

17. 自然あそび2 (サウンドマップ)

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 五感を働かせて、自然の音をじっくり聴く 2. 聴いた音の居場所を絵や記号で表現することにより、想像力や表現力を養う 3. 自然の中の自分を確認する 4. 自然に親しむきっかけとする
対象年齢と人数	<p>小学校中学年から成人まで 何人でも</p>
時間	30～60分
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人工の音が聞こえない静かな場所を選ぶ 2. ふだん聞き逃している自然の音をじっくり聴く 3. 聴いた音の居場所を絵や記号で表現して音の地図を作る
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	B5サイズ程度のサウンドマップカード（画用紙可）、筆記用具
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静かでいろいろな音を聴くことができる場所を選び、楽な姿勢で腰をおろす 2. サウンドマップカードを全員に配布する 3. 5～10分ほど、周囲の音に集中してどのような音が聞こえてくるのかを聴く 4. 自分が現在いる場所を中央の印として、そこを基準に聴こえて来る音の方向に合わせて、その音を絵や記号でカードに書き込んでいく 5. まとめとして、お互いのサウンドマップを見せ合い、想像力・表現力を評価したり共感しあったりする
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 夜間に行く場合は安全に留意する 2. 聞く場所が決まり音を聞き始めたら、歩き回らないようにする 3. 同じ場所で、朝・昼・夜と時間帯を変えて行くと、聞こえてくる音も違うことに気づき、自然が絶え間なく変化していることを実感できる 4. 想像力や表現力を評価・共感しあう活動なので、絵や記号化の巧拙については評価しない 5. 静的な活動なので、心を落ち着かせる時やプログラムに緩急をつけたい時に実施すると効果がある

※ネイチャーゲームには、この他「木へのインタビュー」「わたしの木」「サイレンとウォーク」などの静的なもの、「カモフラージュ」「カメレオンゲーム」「こうもりとガ」などのゲーム性の強いもの（動的なもの）、夜間に行うナイトネイチャーゲームなど、たくさんの種類があります。それぞれ、目的や用意するものなどが異なりますので、事前に少年自然の家にご相談ください。

18. クラフト（自然物を使っての木工細工）

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然の物を使って作る喜びを味わう 2. ナイフ・ノコギリなど、道具の使い方を学ぶ 3. 雨天時の代用プログラムや静のプログラムとして活用できる
対象年齢と人数	小学校高学年から成人まで 少人数（最大70～80人）
時間	2～3時間 + 事前に自然物（木の実など）を採取しておく
方法	自然物の枝・つる・木の実などを使って道具で加工する
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	ナイフ、カッターマット、ノコギリ、きり、サンドペーパー、材料、ボンド
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作る物の選択をする 2. 注意事項と指導者の配置（少人数グループごとに1名ずつが理想） 3. 製作開始 4. 清掃・片付け
留意点	<p>※貸し出し道具の数に限りがあるため、事前打合せ時にご相談下さい。</p> <p>※自然素材については、各団体でご準備下さい。</p>

貸し出し可能道具

カッターマット（148枚）、のこギリ（折り畳み式47本）、いとこのこ（48本）、きり（30本）、
 目打ち（67本）、かなづち（13本）、段ボールカッター（大15、小8）、筆（197本）、聴診器（92台）、ピンセット
 （18本）、スポーツマンナイフ（18本）、クラフトナイフ（15本）、
 カッターナイフ（65本）、はさみ（81個）、小刀（右利き用173本・左利き用25本）

19. 自然観察ハイキング

ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 丸火の自然を学ぶことにより、自然に親しむきっかけとする 2. 班で協力して問題を解くことにより、チームワークを育む 3. 地図の読み方、コンパスの使い方を学ぶ
対象年齢と人数	小学校中学年から成人まで 少人数のグループ
時 間	2～3時間
方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地図ハイク方式で、ポイントに課題を設置する 2. ウォークラリー形式でも実施可能
活動できる季節	季節に合った課題を設定することで、1年中実施可能
準備するもの	コース図、コンパス、課題表、解答用紙、採点表、ゼッケン、筆記用具
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース内に課題の設定をし、危険箇所へ指導者を配置する 2. ハイキングの目的を説明する（終了予定時刻を伝えておく） 3. 地図の読み方、コンパスの使い方を指導する 4. グループごとに地図と解答用紙を持って、間隔を開けてスタートする（グループリーダーがゼッケン着用） 5. 帰着時に人数を確認し、採点をする
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地図とコンパスを配布し、地図の読み方を覚えさせる 2. 終了予定時刻を設定し、事前説明の時に全員に伝えておく 3. コンパスをなくしたり、破損したりしないよう注意する 4. ポイントに置く課題表は、見えやすい位置に設置する 5. 全員に地図と解答用紙を持たせて、他人任せにさせない

【課題例】

1. コース中で聞こえた鳴き声の鳥の名前は？
2. 人工林と自然林の違いは？
3. この葉の匂いをかいてみてください。この木の名前は？
4. この木の年齢は何歳でしょうか？
5. ここの道幅は何メートルありますか？
6. ロープで囲まれた中に何種類の植物がありますか？
7. コース中で、食べられる草、薬になる草を各1種類ずつ採集してきなさい
8. 丸火の溶岩は、いつ頃できたのでしょうか？
9. この木の肌を持つ木は、どの木ですか？（木肌の写真を3種類ほど提示して選ばせる）

※ 季節にあった問題を設定することが望ましい

20. 植物観察ハイキング

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 植物をよく観察し、その特徴を見つけ出す 2. 植物の名前を覚える 3. 丸火の自然を学ぶことにより、自然に親しむきっかけとする 4. 班で協力して問題を解くことにより、チームワークを育む
対象年齢と人数	<p>小学校高学年から成人まで 少人数グループ</p>
時間	2～3時間
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前下見により、コース中にある植物とそのポイントを特定しておく 2. 資料を見ながら、コース中にある植物を観察し、見つける 3. 指定された時間内にできるだけ多くの植物を見つけてくる
活動できる季節	<p>季節に合わせた課題を設定することで、1年中実施可能 ただし、冬は植物の数も限られるので、木肌の観察などを課題にするとよい</p>
準備するもの	<p>課題表（植物ビンゴカードなど）、ゼッケン、筆記用具 植物図鑑・植物観察資料（貸し出し可能）</p>
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コース内に課題設置と危険箇所に指導者の配置 2. ゲームの説明をする（終了予定時刻も伝える） 3. グループごとに課題資料を持って、間隔を開けてスタートする（グループリーダーがゼッケン着用） 4. 実際の植物と資料を対比して、見つけたら○印をつける 5. 指定された時間内にゴールする 6. 帰着時に人数確認をし、課題の採点をする 7. まとめとして評価をする
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静岡県自然観察ガイドブック⑦「丸火自然公園」72冊利用可能 （少年自然の家で貸し出しできますので申し出てください） 2. 終了予定時刻を設定し、事前説明の時に全員に伝えておく 3. 観察ポイントに置く課題は、見えやすい位置に設置する 4. 全員に課題表を持たせて、他人任せにさせない 5. 終了後に、植物図鑑などで詳しく調べる時間を設定する

※富士市民団体は富士市環境アドバイザーに依頼することができます。

詳しくは、下記の富士市環境アドバイザーのホームページをご覧ください。

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sp/kurashi/c0901/fmervo0000003ce7.html>

21. ウォークラリー（フォトラリー）

ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの冒険心に働きかけ、コマ地図を頼りに森の中をハイキングする 2. グループで協力することや忍耐力・自主性などを育てる 3. コマ地図の見方や使い方を理解させる 4. 自然の中の自分を確認し、自然に親しむきっかけとする 5. 環境教育の一環になる
対象年齢と人数	小学生から成人まで 少人数グループ単位で実施する
時 間	2～3時間
方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウォークラリーのコマ地図を頼りに、道や林の中をハイキングする 2. コース中に設定された課題を解決しながら進む
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	コマ地図、課題解答カード、課題表、解答用紙、筆記用具、ゼッケン
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. コマ地図と課題解答カードを配布し、ゲームの説明をする 2. コマ地図の見方を指導する（帰着予定時刻を伝えておく） 3. コースに課題表を設置し、危険箇所へ指導者を配置する 4. グループごとに3～5分間隔でスタートする (グループリーダーがゼッケン着用、スタート時刻の記入) 5. 帰着時に時刻と人数を確認し、課題を採点する 6. まとめとして課題の解答と解説を行い、相互に評価し合う
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 帰着予定時刻の設定をしておく 2. 事前に下見を実施して、危険箇所の確認や活動の目的、参加者の年齢・能力に応じたコース・課題を設定する

※「フォトラリー」のコース図は、コマ地図の代わりにコース中の道の交点や特徴的な地形物のある場所の写真を事前にデジタルカメラで撮影しておき、その中に進行方向を矢印で示すようにして、目的地までの道順に並べます。(少年自然の家にサンプルがあります。ご相談下さい。)

22. アドベンチャーラリー

ねらい	1. 丸火自然公園を探検し、冒険心、決断力を学ぶ 2. シナリオに沿って、さまざまな課題を解決する 3. ルールを守り、協力することを学ぶ。
対象年齢と人数	小学校中学年以上が望ましい。 少人数グループ（4～5人班）で行うのが好ましい。
時間	4時間程度
方法	1. シナリオに沿って、ウォークラリー、オリエンテーリング、追跡ハイクなどを混ぜ、指示書に従って活動する。 2. チェックポイントで課題に挑戦する。 3. 班で協力してチェックポイントを回る。
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	シナリオ 想定文 暗号文 命の綱 報告書 指示書 フォトラリー ウォークラリー（こま地図） ポイントOLコース コントロールカード 各種イベント用具 その他
活動の流れ	1. ルールを説明する 2. 想定文を読む。 3. 暗号文を読み解き、活動の目的を知る。 4. スタート地点で次の目的地に向かう為の方法を知る。 ここからの移動については、フォトラリー、ウォークラリー、ポイントOLなどを組み合わせて行う。 5. チェックポイントでイベントを行う。 イベントの種類や難易度は参加者に応じて設定する。 例：キムス、歩測、カモフラージュ、宝探しなど 6. ゴールで採点を行う。
留意点	1. 参加者に応じて、コース長やイベントの数などを考える。 2. 安全で楽しく活動できるように配慮する 3. コースや想定文については、各団体で設定する

※想定文の例

「昔、この村には大淵小僧と呼ばれる子供がおったんですわ。この小僧は悪さばかりするもんで、村人たちでとっつかまえて、深い穴の中に落として殺しちまったよ。小僧が死んで少しすと、村には原因不明の疫病がはやった。きつこりゃ大淵小僧のたたりだと思って、ほこらを作ってお祭りしたところ、疫病はおさまったんでござえますだ。ところが数日前、夢枕に大淵小僧が現れ、まもなく復活し、恨みを晴らすというのでござえますだ。

そこで、木花咲耶姫さまにお願いしたところ、村長の枕元に暗号文が置いてあった。村の衆は誰も解読できなかった。ぜひ、みなさんに解読していただき、大淵小僧の復活を阻止していただきたいでございます。」

※貸し出しセットを準備してあります。ご相談下さい。

参考資料1 丸火の謎解き冒険ラリー

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 丸火自然公園を探検し、冒険心、判断力を養う 2. シナリオに沿って、課題を解決する 3. ルールを守り、協力することを学ぶ 4. 地図読み（方角、ルート）の基本を復習し、OLへつなげたい
対象	小学校中学年以上、4～5人の班が好ましい
時間	3～5時間程度（イベント内容やコースにより延長や短縮可能）
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地図上のポイントに同番号のポイントカードをつける 2. 班で協力してポイントを回り、ことばを集める 3. 集めたことばで隠しポイントに気付く。 4. 有人ポイントでイベントに挑戦する
季節	一年中可能
準備するもの	ポイントカード 想定文 冒険マップ 各種イベント用具 筆記用具 ※筆記用具以外は貸出やデータ渡しが可能
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルールを説明する 2. 想定文を読む 3. ポイントを回りことばを集める 4. 集めたことばを並べて隠しポイントを見つける 5. 隠しポイントで溶岩クイズ 例：丸火溶岩の噴火年代、溶岩樹型の高さ・幅 6. 有人ポイントでイベント ※イベントの種類や難易度は参加者に応じて設定する 例：キツツキの巣穴、植物探し、動物ジェスチャーゲーム 7. ゴールで採点
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者に応じてコース長やイベント数を考える 2. 安全で楽しく活動できるよう配慮する 3. コースや想定文は、各団体に設定する 4. 溶岩樹型は見るだけで中へ降りるのはご遠慮下さい。

※想定文の例(ラストの展開は自由です。ご褒美として夕飯チケットなど)

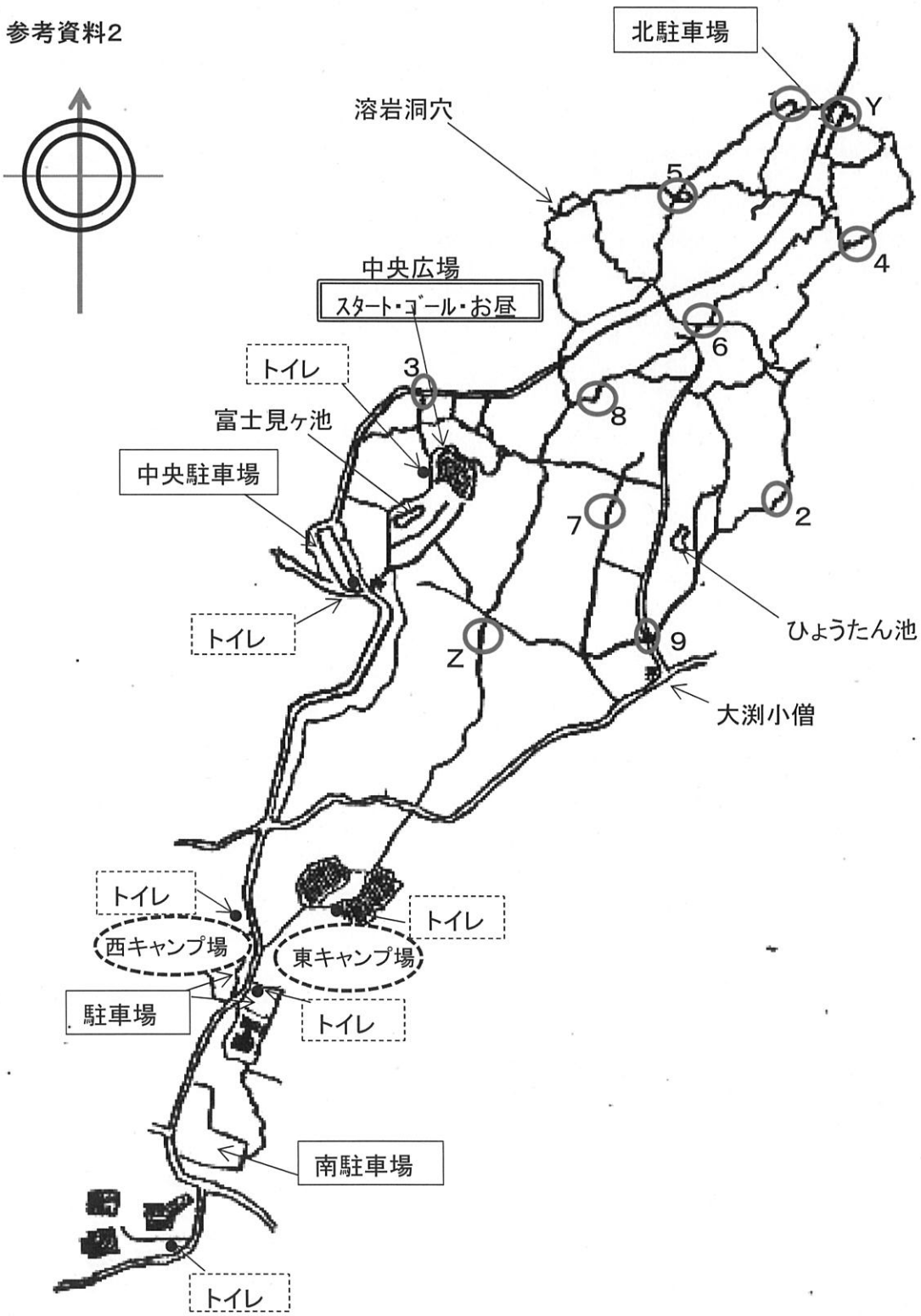
わしは丸火ヨーガン王国国王マグマ8世。むかし、この丸火ヨーガン王国では悪い鬼がいた。この鬼は悪いことばかりするので、王国では冒険者を集め、封じ込めた。それ以来、長い間平和だったのだが、最近不吉なことばかり起きるので預言者に聞いてみたのじゃ。するとなんとしたことか、『鬼が封印を破り、すべての国民の心にとりつこうとしている』というのじゃ。そんなことになったら王国はバラバラじゃ。

そこで、王国の守り神コノハナサクヤヒメさまにお願いしたところ、夢枕にヒメさまがお立ちになり『冒険者を集め地図をたくせ！』とおっしゃられた。

目が覚めたとき鬼を封じ込めるための王国の地図が枕元においてあったのじゃ。ぜひ冒険者のみなさまに地図の謎をとき王国の人の心がバラバラにならないようにしていただきたい。

※ ラスト例 最後の謎を解くことで丸火の溶岩についてわかり、サクヤヒメが封印してくれる

※ 想定文を使用しなくても謎解き冒険ラリーとしては成立します。



指令1 『大事なXポイントを探せ！』
 ○印のポイントをまわって隠しことばを見つけよう
 見つけたことばは同じ番号の口に書こう

1	2	3	Y	5	6	7	Z	8
1と6	4と5	をそれぞれ	線で結べ	その	まじ	わった	てんが	X

指令2 『YとZポイントで赤鬼青鬼の出す問題を解こう』
 Zでは観察する力、Yではチームの力が試される

Y	Z

参考資料 3

1. Zポイント種目(例) いずれも見つけるまでの時間

No.	種目名	内容	備考
1	きつつきの穴さがし	アスレチックの支柱にきつつき(アカゲラ)の開けた穴があります。パテ埋めしてあります。いくつかのアスレチックの中から探させます。	キツツキは木の中の虫を食べたり巣穴を作るために穴をあけます。普通は枯れ木にします。
2	ほお 朴葉探し	見本の朴葉を見せ、アスレチック沿いで葉っぱを探します。タイヤ渡り手前に名札付きであります。	朴の葉は30cmの巨大な葉っぱ。香りが良いので食器として使うこともあります(朴葉みそなど)。
3	ほお 朴の木名前あて	見本の朴葉を見せ、アスレチック沿いで木を探し名前をあてます。タイヤ渡り手前に名札付きであります。	朴の葉は30cmの巨大な葉っぱ。香りが良いので食器として使うこともあります(朴葉みそなど)。

2. Yポイント種目(例) 時間計測あり、作戦タイムは別枠

No.	種目名	内容	備考
1	切株でポーズ	切株にチーム全員が乗りポーズを決める。落ちるまでの時間を競う。全員で長く乗るための作戦を考える。	丸太の切株貸します
2	目隠し列車	二本のロープを平行なS字に引いておく、リーダーは目隠し列車になった他のメンバーが踏まないように誘導する。作戦タイムあり	ロープ貸します 目隠し各自
3	竹とい物語	2mの竹樋3本で坂道をつくり、ゴルフボールを転がしてバケツに入れる。飛び出したらやり直し。作戦タイムあり	竹樋3本・ゴルフボール・バケツ貸します

3. Xポイントクイズ(例)

No.	種目名	内容	備考
1	溶岩樹型	樹型の高さ当てクイズ 約9m。	自然の家なら3階のベランダくらいの高さ、樹型の高さは当時の木の高さの一部。
2	溶岩樹型	樹型の直径当てクイズ 約4.7m。	屋久島の縄文杉にも負けない大きさ
3	丸火の溶岩	噴火したのは何年前クイズ 約1100年前。	・宝永噴火が1707 ・大淵丸火溶岩流と言います

4. Xポイント正解への誘導(例)

No.	種目名	内容	備考
1	たぬきの文字	樹型への途中の道にヒントカードをぶら下げ正解へ誘導する。『よたうがんとじゅたけいのふかたさはきたゆうためいたとる』	その名のとおり「た抜きの文字」
2	丸火の溶岩紙芝居	開始時にあらかじめ、丸火の溶岩のなりたちや樹型や洞穴のでき方の紙芝居で学習しておく。覚えることの意識づけ必要。	紙芝居貸出または所員対応可

5. Xポイント正解からラスト

正解し丸火の溶岩について正しく理解したことで、富士山の神様コノハナサクヤヒメが鬼を再び封印してくれることになる。ご褒美は夕飯チケットなど用意してください。

23. バードウォッチング

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然の中で鳥の姿を観察したり、鳴き声を聞いたりする 2. 自然に触れ合い、自然に親しむきっかけとする 3. 静かに観察する
対象年齢と人数	小学校低学年から成人まで 少人数グループ（大勢だと静かに観察することができない）
時間	1時間程度
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 林の中のいろいろな鳥を観察できる場所を選ぶ 2. しばらくの間静かに鳥の声を聴く（「聞きなし」をする方法もある） 3. 鳴き声の聞こえてくる方をスポッティングスコープや双眼鏡でのぞいて見て、鳥の姿を観察する 4. 図鑑などでその鳥の名前や生態などを調べる
活動できる季節	1年中実施可能（4～11月ごろが最適期）
準備するもの	野鳥図鑑、双眼鏡・スポッティングスコープ、三脚筆記用具、メモ帳
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鳥の鳴き声が聞こえて来そうな静かな場所を選んで、グループごとに移動する 2. 鳴き声の聞こえた方に耳を澄ませて聴き取り、姿が見えたら双眼鏡（スポッティングスコープ）でのぞいて見る 3. 見えた鳥の体の特徴をメモしたり、スケッチしたりして図鑑で名前を調べる 4. 違った鳥の鳴き声が聞こえたら、2～3のようにする 5. 帰ったら集合して、グループごとにどんな鳥に出会えたかを発表し合う
留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観察が始まったら、動き回らずに静かにじっと待つ 2. 鳥の鳴き声もメモすると良い（「聞きなし」…自分なりにどんなふうに聞こえたかを文字で表現する） 3. 図鑑の数が不足したり、携帯に向かない図鑑の場合もあるので、体の特徴や色などをスケッチして帰り、後で調べるという方法もある

※双眼鏡【13台】やスポッティングスコープ（三脚付き）【1台】、携帯用野鳥図鑑などは、少年自然の家でも貸し出し可能です。但し、損傷した場合は、弁償して頂きます。

尚、双眼鏡は、取扱いについて事前に所員の指導を受ける必要があります。（15分程度）

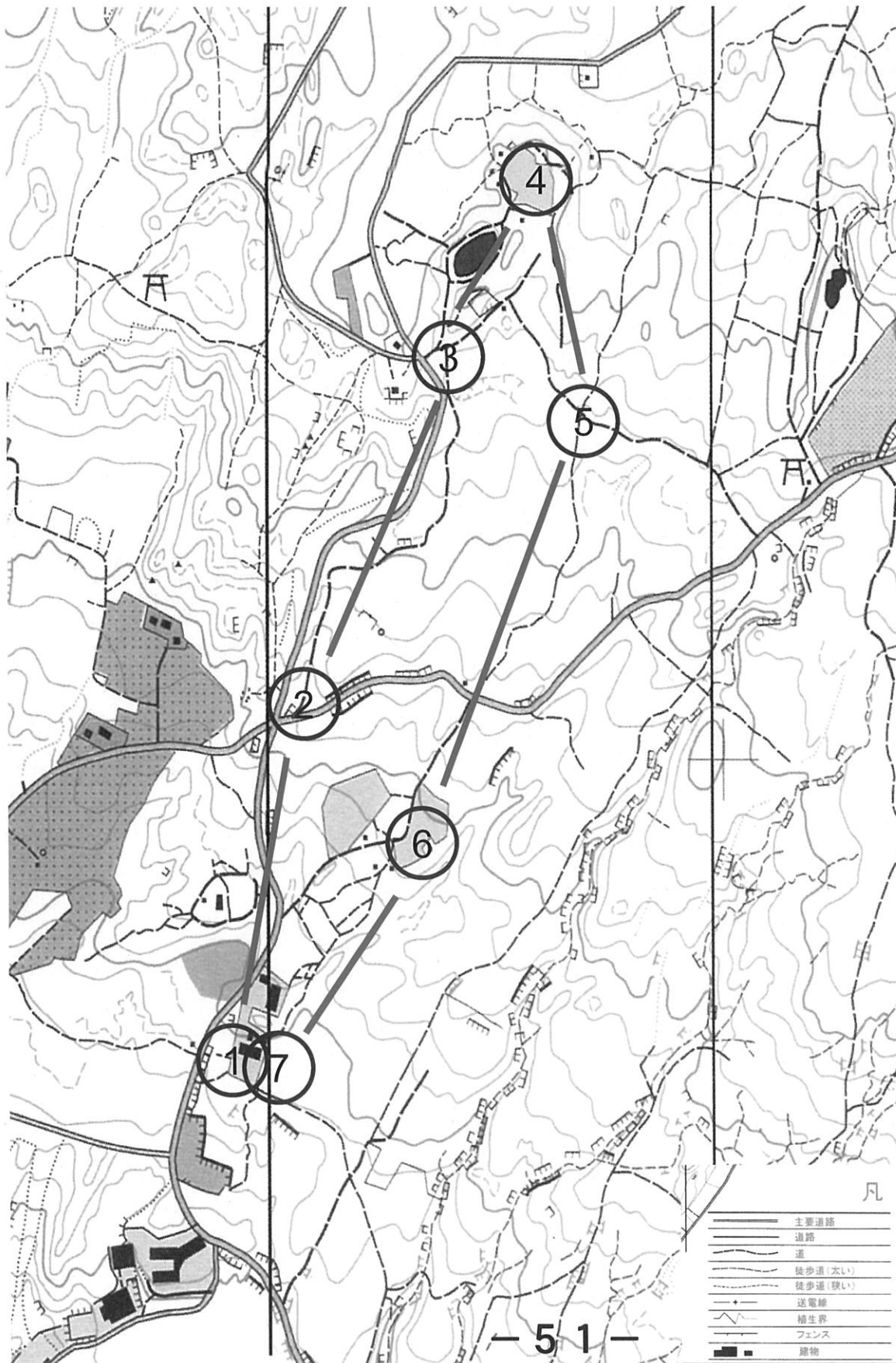
24. 体育館でレクリエーション

ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 悪天候時の代替えプログラム。 2. チームワークを学ぶ。 3. 身体を鍛え、体力の向上を図る。
対象年齢と人数	小学校低学年から成人まで
時 間	1～3時間（活動内容による）
貸し出し 可能備品 （体育館器具庫 保管備品）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長縄・・・5本 2. 綱引き用大縄・・・3本 3. 竹馬・・・16セット 4. フラフープ・・・大11本、小2本 5. 各種ボール（ドッジボール、バスケットボール、バレーボール）・・・各10個程度 6. バドミントンラケット・・・5本、シャトル・・・90個 7. 卓球台1台、卓球ラケット10本、ネット2セット、ピンポンボール22個 8. ポートボール台・・・5台 9. マーカーボール・・・12組 10. マーカーコーン・・・【大 5色×3本】【小 12個】 11. ボールキャッチ用具・・・21個 12. グローブ16個、バット5本、ソフトボール12個【野外利用に限る】 13. 疑似営火 14. その他（たたみ3、ホワイトボード1、審判台2、ステージ台6、パイプ椅子、バレーボール用ネット・アンテナ2セット、バドミントン用ネット、フットサルゴール・ボール2個、ブルーシート、得点板2台）
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	体育館シューズ
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育館内は飲食は禁止です。（水分の補給等は、体育館を出て施設の外や、食堂への連絡通路等で行ってください。活動の内容の進行上やむを得ず、体育館内で昼食をとる場合は、シートを引いてご利用下さい。 2. 館内での火気は厳禁です。 3. フロアに傷をつけないようにお願いします。使用後は清掃（モップがけ）をお願いします。 4. 男女トイレの清掃もお願いします。 5. 結露の関係で、フロアに水がたまっていることがあります。申し訳ありませんが、見つけましたら器具室のモップを使って、拭いてからご利用下さい。

25. 防災ウォークラリー

ね ら い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災クイズや防災プログラムをポイントごとに体験する 2. 地図の見方や使い方を理解させる 3. 静岡県 の 災害の歴史を知る 4. 環境教育、環境教育の一環になる
対象年齢と人数	<p>小学生から成人まで 少人数グループ単位で実施する</p>
時 間	1～2時間
方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地図を頼りに、道や林の中をハイキングする 2. コース中に設定された課題を解決しながら進む
活動できる季節	1年中実施可能
準備するもの	防災ウォークラリーマップ&シート、段ボールベッド、簡易トイレ、ロープ、簡易タンク、筆記用具
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災ウォークラリーマップ&シートを配布し、ゲームの説明をする 2. 地図の見方を指導する（帰着予定時刻を伝えておく） 3. コースに課題表を設置し、危険箇所へ指導者を配置する 4. グループごとに3～5分間隔でスタートする （グループリーダーがゼッケン着用、スタート時刻の記入） 5. 帰着時に時刻と人数を確認し、課題を採点する 6. まとめとして課題の解答と解説を行い、相互に評価し合う
留 意 点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 7か所中4か所をスタッフポイントとするとスムーズです 2. 事前に下見を実施して、危険箇所の確認や活動の目的、参加者の年齢・能力に応じたコース・課題も設定できます 3. 資材や地図は少年自然の家のものを利用できます

防災ウォークラリー マップ&シート



①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
三択 クイズ の番号 または スタッフ の✓	

凡例

	主要道路		等高線
	道路		崖
	道		神社 石碑
	徒歩道(太い)		小川 池
	徒歩道(狭い)		
	送電線		耕作地(立ち入り禁止)
	植生界		開けた土地
	フェンス		民家の敷地
	建物		駐車場等

26. クロスカントリーコース（こどもの国）

ね ら い	「富士山麓の雄大な自然の中で、友達や家族と元気にのびのびと遊ぶことを通じて、生命の貴さや自然の豊かさを学び、夢や冒険心を育むことができる場として、また、地域や利用者が交流できる場としての公園運営を目指している」施設を利用する。
対象年齢と人数	乳児から成人まで 何人でも（多人数の場合は、引率指導者も多めにする）
時 間	5～6時間
方 法	1. 団体利用の場合はあらかじめ子どもの国に連絡しておく。 2. 宿泊荷物を先に自然の家におろしてからこどもの国へ向かう。 3. 子どもの国のプログラムを体験する。 4. 少年自然の家まで、徒歩ルートでウォーキング。
活動できる季節	一年中
準備するもの	活動に必要な装備、帽子、タオル、昼食、水筒等
活動の内容	1. クロスカントリーコース【2km、3km】の活用
留 意 点	1. 必ず下見を実施して、危険箇所の把握に努める。 2. こどもの国までの行き返りにバスを利用する方法もある。

※こどもの国から少年自然の家まで団体で歩く計画がある場合は、お勧めのルート案内図があります。少年自然の家までお問い合わせください。（P27 参照）

※静岡県内の学校団体が正規授業で活用する場合や、下見を行う場合、減免対象となり入園料は無料となります。（GW や夏休み中の繁忙期は除きます。）所定の手続きを行ってください。

こどもの国お問い合わせ先：（0 5 4 5）2 2 - 5 5 5 5



活動プログラム

編集・発行 富士市立少年自然の家

住所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 10847-1

TEL (0545) 35-1697

FAX (0545) 36-2799

E-mail info@fuji-marubi.jp

HP <https://fuji-marubi.jp>

2023年4月発行